岩手県立久慈病院浸水対策ほか工事

図　面　リ　ス　ト

図面番号	図面内容	縮尺
A-01	特記仕様書　1	―
A-02	特記仕様書　2	―
A-03	特記仕様書　3	―
A-04	特記仕様書　4	―
A-05	案内図・配置図	1/300
A-06	建具キープラン	1/300
A-07	A　建具表-1	1/50 1/20
A-08	A　建具表-2	1/50 1/20
A-09	A　建具表-3	1/50 1/20
A-10	A　建具表-4	1/50 1/20
A-11	A　建具表-5	1/50 1/20
A-12	A　建具表-6	1/50 1/20
A-13	A　建具表-7	1/50 1/20
A-14	A　建具表-8	1/50 1/20

※　A-病院本館　　B-エネルギーセンター棟・設備付属棟

図　面　リ　ス　ト

図面番号	図面内容	縮尺
B-01	B　建具表-1	1/50
B-02	B　建具表-2	1/50
B-02-1	B　建具表-2-1	1/50
B-03	B　建具表-3	1/50
B-04	B　建具表-4	1/50
B-05	B　建具表-5	1/50
B-06	B　建具表-6	1/50
B-07	B　建具表-7	1/50
B-08	BM　配管図-1	1/50
CS-01	止水板収納箱-1	1/20
DSB-01	DSB　建具表-1（防水ブラインド詳細図）	1/20
DSS-01	DSS　建具表-1（スチール製電動シャッター詳細図）	1/20
外構改修		
図面番号	図面内容	縮尺
G-01	排水計画平面図・断面図（改修前）	1/250 1/100
G-02	新設・撤去共通詳細図	1/20
G-03	排水計画平面図・断面図（解体・撤去図）	1/250 1/100
G-04	排水計画平面図・断面図（改修後）	1/250 1/100
G-05	通路補修配置図	1/1000 1/500
G-06	通路補修詳細図	1/50 1/100

工事名　岩手県立久慈病院浸水対策ほか工事　特記仕様書

Ⅰ．工　事　概　要

1．工事場所　岩手県久慈市旭町10-1

2．施設名称　岩手県立久慈病院

3．施設の条件　【病院本館】延べ面積24,683.91㎡　鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造　地上6階建て

4．工事範囲　外部　浸水対策ほか改修工事

Ⅱ　建　築　工　事　仕　様

1．共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。)による。ただし、標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書(最新版)(以下「改修標準仕様書」という。)」「公共建築木造工事標準仕様書(最新版)」(以下「木造標準仕様書」という。)及び「建築物解体工事共通仕様書(最新版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。

2．特記仕様

1)項目は、番号に○印のついたものを適用する。

2)特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。

3)特記事項に記載の(　)、<　>及び[　]内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 一般事項	⊙ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督員に報告の上、指示に従うこと。 ⊙ 受注者は、監督員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ⊙ 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督員に提出すること。 調査範囲　※　図示
	②. 適用基準等	⊙ 建築工事標準詳細図　(最新版) ⊙ 工事写真撮影ガイドブック<建築工事編及び解体工事編>　(最新版) ⊙ 建築工事監理指針　(最新版) (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
	③. 実施工程表	週間、月間、工種別工程表等の作成、提出は監督職員の指示による。<1.2.1>
	4．電気保安技術者	・ 適用する　※ 適用しない　<1.3.3>
	⑤. 建築材料等	材料の品質等　<1.4.2> 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。 環境への配慮　<1.4.1> ※標準仕様書1.4.1による。
	6．室内の空気中の化学物質濃度の測定	※　ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定　<1.6.9>(1.5.9) 測定対象物質　※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ　・ﾄﾙｴﾝ　・ｷｼﾚﾝ ・ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ　・ｽﾁﾚﾝ　・ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ 測定は、「官庁営繕部における平成15年度からのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」(平成15年4月1日付け)国営建第1号・国営設第1号)により行い、厚生労働省の指針値以下であることを確認し、報告すること。 ・欠損部改修工法　測定箇所 ・ 次の室について測定する。 測定する室名(　　) ・ 上記によらない場合は監督員の指示による。 この場合、受注者は協議簿を作成し、監督員から指示を受けること。 ・浮き部改修工法　測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を2部提出する。 a 測定結果 b 試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内)、天候, 風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数) c 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合、引渡は受けない。
	⑦. 特別な材料の工法	「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。
	8．施工調査	施工数量調査　<1.5.2> 調査項目 ― 調査範囲 ― 調査方法 ― 成果品 ・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。　<1.5.3>

⑨. 技能士　<1.6.2>

・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。

※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。

・ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。

工事種目	技能検定職種(技能検定作業)
以下の該当工事	・該当する作業がある以下の職種(作業)の全て
仮設工事	⊙とび(とび作業)
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	・型枠施工(型枠工事作業) ・コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業)
鉄骨工事	・とび(とび作業) ・鉄工(構造物鉄工作業)
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	・ブロック建築(コンクリートブロック工事作業) ・ＡＬＣパネル施工(ＡＬＣパネル工事作業)
防水工事	⊙防水施工(・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ防水工事作業 ・ＦＲＰ防水工事作業　)
石工事	・石材施工(石張り作業)
タイル工事	・タイル張り(タイル張り作業)
木工事	・建築大工(大工工事作業)
屋根及びとい工事	⊙建築板金(内外装板金作業) ・かわらぶき(かわらぶき作業)
金属工事	・内装仕上施工(鋼製下地工事作業) ・建築板金(内外装板金作業) ・バルコニー施工(金属バルコニー工事作業)
左官工事	⊙左官(左官作業)
建具工事	⊙サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ⊙ガラス施工(ガラス工事作業) ・自動ドア施工(自動ドア施工作業)
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	・カーテンウォール施工(金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業) ・サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ・ガラス施工(ガラス工事作業)
塗装工事	⊙塗装(建築塗装作業)
内装工事	・内装仕上施工(・プラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上工事作業　) ・表装(壁装作業)
排水工事	⊙配管(建築配管作業)
舗装工事	・路面表示施工(・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業 ・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ作業　)
植栽工事	・造園(造園工事作業)

⑩. 提出書類

(契約後)	⊙工事工程表　⊙現場代理人, 主任技術者等届 ⊙火災保険加入契約書(写)　⊙請負代金内訳書
(工事中)	⊙出来高検査願　⊙施工体制台帳(写) ⊙工事完成届　⊙工事完成引渡書
(完成後)	

共通, 特記仕様書等に定められている主な提出書類

(契約後)	⊙工事総合施工計画書
(工事中)	⊙各種工事施工計画書　⊙各種工事施工図 ⊙工事作業日報　⊙主要資材規格又は品質証明書 ⊙各種試験成績書又は報告書　⊙主要資材搬入検査願 ⊙施工体制台帳(写)
(完成後)	⊙完成図　⊙責任施工保証書　⊙各種届出書等 ・官公署認可及び検査済証 ⊙取扱説明書(設備機器説明含む)

⑪. 施工図及び施工計画書

施工図及び施工計画書の提出について　<1.2.2><1.2.3>

(a)施工図及び施工計画書は、工事の着手に先立ち、各工種において作成し提出する。

(b)施工図の記載内容及び記載水準は、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築・設備工事施工図の描き方(最新版)」に準ずるものとする。

(c)本工事に係る施工図及び施工計画書の著作者の権利は、当該建物における使用に限り発注者に移譲するものとする。

(d)提出部数は、監督員の指示による。

12. 設備工事との

施工範囲　各工事の区分表による。

・図示した貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強

・図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び下地材の補強

・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作ｽｲｯﾁ

・自動閉鎖装置取付けの箇所の切り込み及び補強

・他指示するところ

施工図　設備機器の位置, 取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。

13. 住宅瑕疵担保責任

住宅瑕疵担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け

・あり(新築住宅の場合)　・なし(新築住宅以外の場合)

⑭. 保険

本工事の受注者は、工事期間中、工事目的物及び工事資材(支給材料を含む)に対して、下記により保険等に加入しその証書写しを監督員に提出する。

(1)加入する保険

受注者は、工事内容により建設工事保険、火災保険、組立保険等の内1以上の保険に加入する。

(2)保険金

原則として請負代金額とし保険等に必要な一切の費用は受注者の負担とする。

(3)保険の期間

原則として工事着工日から工事完成30日後までとする。

(4)保険契約の変更

保険契約締結後に請負代金の変更又は工期延長等があった場合は、相応の保険契約を変更すること。

(5)保険証券等の提出

保険契約を締結(変更を含む)した場合は、当該保険証券等の写しを監督員に

仮設工事

1．仮囲い　※ 設ける　・ 設けない

仮囲いの位置及び延長は図示による。

・シートゲート(H=　, W=　)×　箇所

2．危害防止　※ シート張り　・ 金網養生

③. 監督職員事務所　※ 設けない(請負者事務所に打合せ会議室を確保する)　<2.4.1>

・ 設ける(規模　㎡程度　請負者事務所と同棟　・可　・否)

備品の種類	机・椅子	書棚	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	掛時計
数量	組	ケ	ケ	ケ
備品の種類	温度計	ｺﾞﾑ長靴	雨がっぱ	保護帽
数量	ケ	組	組	ケ
備品の種類	安全帯	上履き	衣類ﾛｯｶｰ	懐中電灯
数量	ケ	組	ケ	ケ
備品の種類	軍手			
数量	組			

④. 工事用水　構内既存の施設　・ 利用できる(※有償　・無償)　※ 利用できない

⑤. 工事用電力　構内既存の施設　・ 利用できる(※有償　・無償)　※ 利用できない

⑥. 工事用通路　※ 指定しない　⊙ 指定する(図示)

7．足場等　<2.2.1><表2.2.1>

外部足場　・ 設置する(　設置範囲　・ 図示　)

・ 設置しない

防護シート　・ 設置する(　設置範囲　・ 図示　)

・ 設置しない

内部足場　・ 設置する(　設置範囲　・ 図示　)

・ 設置しない

・材料、撤去材等の運搬方法

種別(⊙Ａ種　⊙Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　⊙Ｅ種　)

Ｃ種:利用可能なエレベーター　(　　)

Ｄ種:利用可能な階段　(　　)

足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。

8．養生　家具の移動　・ 行う(図示)　・ 行わない

家具名称:

既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管

・ 行う(図示)　・ 行わない

養生の方法:

保管場所:

9．仮設間仕切り　<2.3.2><表2.3.1>

・ 設ける(図示)

・ Ａ種　・ Ｂ種　※ Ｃ種

・ 設けない

10．その他の仮設

3 防水改修工事

1．アスファルト防水　改修工法の種類　<3.1.4><3.3.3><表3.1.1><表3.3.3～10>

新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所
・		
・		

アスファルトの種類　JIS K2207のJIS表示認証製品　※3種　<3.2.2>

脱気装置　・ 設ける　・ 設けない　<3.3.3>

種類　・ 平面部脱気型　・ 立ち上がり部脱気型

施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

2．伸縮調整目地　※ 成型伸縮目地(天端:EPTゴム　サイド:ブチルゴム製)　<3.3.2><3.3.5>

3．改質アスファルトシート防水　改修工法の種別　<3.1.4><3.4.3><表3.1.1><表3.4.1～3>

新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料
・AS－T			※ カラー
・AS－J			・ シルバー
・ASI－			

脱気装置　・ 設ける　・ 設けない　<3.4.3>

種類　・ 平面部脱気型　・ 立ち上がり部脱気型

施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

4．合成高分子系ルーフィングシート防水　改修工法の種別　<3.1.4><3.5.3><表3.1.1><表3.5.1～2>

新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料
⊙S－M2	S4S工法	中央病院　屋上	※ カラー
・			・ シルバー
・			

脱気装置　・ 設ける　⊙ 設けない　<3.5.3>

種類　・ 平面部脱気型　・ 立ち上がり部脱気型

施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

⑤ 塗膜防水　改修工法の種別　<3.1.4><3.6.3><表3.1.1><表3.6.1～2>

新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料
・Ａ－1	塗膜防水	配管周り	※ カラー
・			・ シルバー
・			

脱気装置　・ 設ける　・ 設けない　<3.6.3>

種類　・ 平面部脱気型　・ 立ち上がり部脱気型

施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

⑥ シーリング材料の種別及び施工箇所　<3.7.2><表3.7.1>

※ 被着体に応じたものとし、<表3.7.1>を標準とする。

・ <表3.7.1>によらない箇所及びシーリング材料

<表3.7.1>によらない箇所	シーリング材料
⊙アルミ水切り上部　止水枠　止水扉枠	変性シリコーン系
・	

⑦ シーリング改修工法　改修工法の種別　<3.1.4><3.7.4～8><表3.1.2>

改修工法の種類	施工箇所
⊙ シーリング充てん工法	防水改修端末　防水ﾒｰｶｰ指定品
⊙ シーリング再充てん工法	変性シリコーン系
・ 拡幅シーリング充てん工法	
・ ブリッジ工法(　　)	

8．とい　<3.8.2><表3.8.1><表3.8.2～3>

材種	防露
・ 配管用鋼管(SGP)	※ <表3.8.3～4>により行う
・ 硬質塩化ビニル管(VP)	
・	

特記無き限り既存のとい受け金物を使用する。

鋼管製といの防露巻き　<3.8.3><表3.8.4>

※ <表3.8.4>による。　・

9．ルーフドレン　※水はけよく床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する。　<3.8.3>

10．アルミニウム製笠木　部材の種類　<3.9.2><表3.9.1>

・ 押出 250形　・ 押出 300形　・ 押出 350形

・ 板材折曲げ形(・オープン形式　・シール形式)

付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。

表面処理　<3.9.2><表5.2.2>

※ BB－1種　・ BB－2種

下地の補修方法

・ モルタル補修

既存笠木を撤去した後、下地となる構造体の状況を確認し、上記によることが困難な場合は、監督員と協議すること。

11．防水保証　アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を作成し提出する。

塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。

4 外壁改修工事

1．コンクリート打放し仕上外壁

・ ひび割れ部改修　<4.2.2><4.3.4～6>

工法	材料	ひび割れの幅(mm)	延べ長さ(想定m)
※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	
※ 樹脂注入工法	・ 低粘度エポキシ樹脂 ・ 高粘度エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満	
※ Uカットシール材充てん工法	※ 可とう性エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満	
	・ シーリング材ＰＵ－２ ・ 可とう性エポキシ樹脂	1.0～1.5未満 1.5～2.0未満 ～　未満	
※ 注入工法	・ 超微粒子セメント系注入材		

コアの抜き取り検査　・ 行う　※ 行わない　<4.3.4>

・ 欠損部改修　<4.2.2><4.3.7>

工法	材料	欠損程度	想定箇所数
※ 充てん工法	・エポキシ樹脂モルタル	100*100程度	
		300*300程度	
	・ポリマーセメントモルタル	500*500程度	
		700*700程度	
		700*700を超える	

2．モルタル塗り仕上外壁

・ ひび割れ部改修　<4.2.2><4.4.5～7>

工法	材料	ひび割れの幅(mm)	延べ長さ(想定m)
※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	
※ 樹脂注入工法	・ 低粘度エポキシ樹脂 ・ 高粘度エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満	
※ Uカットシール材充てん工法	※ 可とう性エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満	
	・ シーリング材ＰＵ－２ ・ 可とう性エポキシ樹脂	1.0～1.5未満 1.5～2.0未満 ～　未満	
※ 注入工法	・ 超微粒子セメント系注入材		

・ 欠損部改修　<4.2.2><4.4.8～9>

工法	材料	欠損程度	想定箇所数
※ 充てん工法	・エポキシ樹脂モルタル	100*100程度	
		300*300程度	
	・ポリマーセメントモルタル	500*500程度	
		700*700程度	
		700*700を超える	
・ モルタル塗替え工法	・<表4.4.1>による	20程度 ﾗｽ下地25程度	
	・ポリマーセメントモルタル		

備考	設計担当者	工事名	図面内容	縮尺(原図A1版)	縮尺(縮小A3版)
		岩手県立久慈病院浸水対策ほか工事	建築工事特記仕様書(1)	S=NON	S=NON
			設計年月　令和7年8月	区分　建築	No　A-01

4 外壁改修工事

・ 浮き部改修 <4.4.4><4.4.8～15>

工法	アンカーピン(本/㎡) 一般部 / 指定部	注入口(箇/㎡) 一般部 / 指定部	想定箇所
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・ / ※25 ・		
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・ / ※20 ・	※12 ・ / ※20 ・	
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・ / ※20 ・	※12 ・ / ※20 ・	
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・ / ※16 ・		
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・ / ※16 ・	※ 9 ・ / ※16 ・	
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9 ・ / ※16 ・	※ 9 ・ / ※16 ・	
・充てん工法			
・モルタル塗替え工法			

3．タイル張り仕上外壁

・ ひび割れ部改修 <4.2.2><4.5.5～8><4.5.16>

工法	材料	ひび割れの幅(mm)	延べ長さ(想定m)
※ 樹脂注入工法	・ 低粘度エポキシ樹脂 ・ 高粘度エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満	
※ タイル貼り除去後 ・Uカットシール材充てん工法	※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シーリング材PU－２	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満 1.0～1.5未満	
・樹脂注入工法の上タイル張替え工法	・ 可とう性エポキシ樹脂	1.5～2.0未満 ～ 未満	
・ タイル部分張替え工法	・ ポリマーセメントモルタル		

・ 欠損部改修工法 <4.2.2><4.5.7～8>

工法	材料	平均深さ(mm)	想定延べ面積(㎡)
※ タイル部分張替え工法	・ポリマーセメントモルタル	10～15未満 15～20未満 ～	
・ タイル張替え工法			

・ 浮き部改修工法 <4.5.4><4.5.7～15>

工法	アンカーピン(本/㎡) 一般部 / 指定部	注入口(箇/㎡) 一般部 / 指定部	想定箇所
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・ / ※25 ・		
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・ / ※20 ・	※12 ・ / ※20 ・	
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・ / ※20 ・	※12 ・ / ※20 ・	
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・ / ※16 ・		
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・ / ※16 ・	※ 9 ・ / ※16 ・	
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9 ・ / ※16 ・	※ 9 ・ / ※16 ・	
・充てん工法			
・モルタル塗替え工法			

・ 目地改修工法
・ 目地ひび割れ部改修工法　位置及び寸法は図示による。
・ 伸縮調整目地改修工法　位置及び寸法は図示による。

4．材料

アンカーピンの材質 <4.2.2>
※ <4.2.2(5)(6)>による。
アンカーピン固定用エポキシ樹脂 <4.2.2>
※ JIS A6024のJIS表示認証製品　※硬質　高粘度形
注入用エポキシ樹脂
※ JIS A6024のJIS表示認証製品

5．タイル張り

タイルの種類　JIS A 5209のJIS表示認証製品 <4.2.2><4.5.8>

施工箇所	形状寸法(mm)	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有	役物 無	色 標準	色 注文	再生材利用タイル	備考
		・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	

※セメントモルタルによるタイル張替え工法
<表4.5.4>により、小口タイル以上二丁掛け以下は密着張りとする。
・有機系接着剤によるタイル張替え工法 <表4.5.5>による。

4 外壁改修工事

6．塗り仕上げ外壁

・仕上塗材 <4.1.5><4.2.2><表4.2.4～5>

規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工法	備考
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・砂壁状 ・ゆず肌 ・さざ波 ・平たん ・凹凸 ・着色骨材砂壁状	・吹付け ・ローラー ・こて	
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・さざ波 ・平たん ・凹凸 ・ひき起し ・掻き落とし	・吹付け ・ローラー ・こて	
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・可とう形複層塗材CE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE	・凸部処理 ・凹凸 ・ゆず肌	・吹付け ・ローラー	
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材RE	・平たん ・さざ波 ・ゆず肌	・吹付け ・ローラー	

7．外壁用塗膜防水材塗り <4.1.5><4.2.2><4.8.2><表4.2.6>

外壁用塗膜防水塗り
仕上げの形状　・　工法・
外壁用仕上塗材の耐候性　・
※JIS A 6909の耐候性1種相当
下地挙動緩衝材の適用　・適用する　・適用しない
吹付け工法の模様材の種類　・
・所要量　(kg/㎡)
外壁用仕上塗材の種類　・
・所要量　(kg/㎡)

コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書４章　外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による

モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書４章　外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による

既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書４章　外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による

8．壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理 <4.6.3>

工法	処理範囲	
・ サンダー工法	※ 既存仕上面全体	・ 図示
・ 高圧水洗工法	※ 既存仕上面全体	・ 図示
・ 塗膜はく離剤工法	※ 既存仕上面全体	・ 図示
・ 水洗い工法	※ 既存仕上面全体	・ 図示

5 建具改修工事

1．一般事項

改修工法 <5.1.3>
・ かぶせ工法　・ 撤去工法
新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。

見本の作成等 <5.1.5>
製作　※ 行わない　・ 行う（建具表による）
仮組　※ 行わない　・ 行う（建具表による）

防犯建物部品　※ 使用しない　・ 使用する（建具表による） <5.1.7>

2．アルミニウム製建具

外部に面する建具 <5.2.2><5.2.4><表5.2.1>

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
・ A 種	S－4	A－3	W－4	70（引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時に性能が確保できない場合は、100）
・ B 種	S－5			
・ C 種	S－6	A－4	W－5	※100 ・

※ 適用箇所は図示による

表面処理	外部に面する建具	※ BB－１種　・ BB－２種
	内部建具	※ BC－１種　・ BC－２種

BB－２種、BC－２種の場合　・ブロンズカラー（※標準色　・濃色）
・ステンカラー

防音ドア、防音サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の遮音性の等級　・ Ｔ－１　・ Ｔ－２　・ Ｔ－３

断熱ドア、断熱サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の断熱性の等級　・ Ｈ－２　・ Ｈ－３

耐震ドア、耐震サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の面内変形追随性の等級　・ Ｄ－１　・ Ｄ－２

5 建具改修工事

3．網戸

使用方法による区分　※外面納まりの可動式　・内部納まりの開き式 <5.2.3>

防虫網（線径0.25mm　網目16-18メッシュ）
・ガラス繊維入り合成樹脂　・ｽﾃﾝﾚｽ(SUS 316)　※合成樹脂
防鳥網　※ステンレス（SUS304）線径1.5mm　ピッチ15mm

4．樹脂製建具

外部に面する建具性能等級等 <5.3.2><表5.3.1>

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
・ A 種	S－4	A－4	W－4	※建具表による
・ B 種	S－5		W－5	
・ C 種	S－6			

※ 適用箇所は図示による

防音ドア、防音サッシ <表5.3.2>
・ 適用する（適用範囲は図示による）　※ 適用しない
適用する場合の遮音性の等級　・ Ｔ－Ａ種　・ Ｔ－Ｂ種

断熱ドア、断熱サッシ <表5.3.3>
・ 適用する（適用範囲は図示による）　※ 適用しない
適用する場合の断熱性の等級　・ Ｈ－Ａ種　・ Ｈ－Ｂ種　・ Ｈ－Ｃ種

表面色 <5.3.4>
・標準色（白）　・特注色（・黒　・ブラウン　・シルバー）

⑤ 鋼製建具

簡易気密型ドアセット <5.4.2><5.4.4><表5.4.1><表5.4.2>
※ 使用する（適用範囲は図示とする）
気密性　※ Ａ－３　・
水密性　※ Ｗ－１　・
・ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性　※ Ｓ－４　・ Ｓ－５

建具寸法が<5.4.4(1)>を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区分		使用箇所	厚さ (mm)
窓	枠類	枠，方立，無目	<表5.4.2>に同じ
出入口	枠類	一般部分	2.3
	戸	中骨	2.3
上記以外			<表5.4.2>に同じ

標準型鋼製建具　※ 使用する　・ 使用しない <5.4.6>

6．鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセット <5.5.2～4><表5.5.1>
※ 使用する(適用箇所は図示による)
気密性　※ Ａ－３　・
・ 使用しない
戸の鋼板　※ 亜鉛めっき鋼板　・ ビニル被覆鋼板　・ カラー鋼板

標準型鋼製軽量建具　※ 使用する　・ 使用しない <5.5.6>

標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり　※ 鋼製　・ アルミ製

7．ステンレス製建具

簡易気密型ドアセット <5.6.2>
※ 使用する（適用範囲は図示とする）
気密性　※ Ａ－３　・
水密性　※ Ｗ－１　・
・ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性　※ Ｓ－４　・ Ｓ－５
表面処理　※ ＨＬ　・ <5.6.4>
鋼板の曲げ加工　※ 普通曲げ　・ かど出し曲げ <5.6.5>

8．木製建具

(16.7.2～4)
建具材の加工、組立時の含水率　・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種
かまち戸の樹種　かまちは杉上小節程度　桟，鏡板は杉無節程度
ふすまの上張り　※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度
ふすまの種類　※ 戸ぶすま 工法（・ 在来型　・ チップ型）

⑨ 建具用金物

<5.7.2><表5.7.1>
材質は（表16.8.1）により、建具の形式に応じたものとする。
（表16.8.1）以外で建具の機能上必要な金物は、建具の製造所の仕様による。

標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー、シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。

握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント取付位置は、建具表による。

マスターキーの製作　⊙ 要（ 10 本）　・不要 <5.7.4>
・ 不要(既存マスターキーで施解錠可能とする。)

鍵箱　⊙ 要（市販品　フック数(本)・30　⊙40　・60　・100）
・ 不要

10．自動ドア開閉装置

性能　・ 引き戸用駆動装置 <5.8.2><表5.8.1～2>
・ 多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置

引き戸用検出装置の種類　・ 光線式（反射）センサー <5.8.3><表5.8.4>
・ タッチスイッチ
・
※ 多機能トイレ出入口に設置される引き戸用開閉装置は、補助センサー併用とする

凍結防止装置　・ 要　※ 不要
全半開装置　※ 設ける（半開幅＝　）
・ 設けない

⑪ 重量シャッター

<5.10.2><表5.10.1>

種類	シャッターケース	耐風圧強度	開閉方式	保護装置
・ 管理用シャッター	※ 設ける ・ 設けない	建具表及び図示による	※ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式	障害物感知装置(自動閉鎖型)を設ける。
⊙ 防水シャッター ⊙ 外壁用 ・ 屋内用	※ 設ける ・		※ 上部電動式(手動併用)	
⊙ 防水ブラインド ⊙ 外壁用			※ 水位自動反応式	

スラット及びシャッターケース用鋼板 <5.10.3>
※溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)
・塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)

12．軽量シャッター

<5.11.2～4><表5.11.1>

開閉形式	シャッターケース	耐風圧強度	スラットの形状	保護装置
※ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用)	※ 設ける ・ 設けない	建具表及び図示による	※ インターロッキング型 ※ オーバーラッピング型	障害物感知装置(自動閉鎖型)を設ける

スラットの材質 <5.11.3>
※塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)
・塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)

13．オーバーヘッドドア

<5.12.2～3>

材質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	※ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ バーチカル形	・ ５０ ・ ７５ ・１００ ・１２５ (JIS A4715による強さの区分)	※ 溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ ステンレス鋼板

保護装置
障害物感知装置　※ 設ける　・ 設けない

14．ガラス

<5.13.2><5.13.3>
※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。
※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。
合わせガラスの特性
・ Ⅰ類　・ Ⅱ－１類　・ Ⅱ－２類　・ Ⅲ類

備考	設計担当者	工事名	図面内容	縮尺(原図A1版)	縮尺(縮小A3版)
		岩手県立久慈病院浸水対策ほか工事	建築工事特記仕様書(2)	S=NON	S=NON
			設計年月　令和７年８月	区分　建　築	No　A-02

6 内装改修工事

1．改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 〈6.1.3〉
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・ 図示の範囲

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※ 壁面より両側６００mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・ 図示の範囲

既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※ 既存のまま
・ 図示の範囲

2．既存床の撤去・下地補修

合成樹脂塗床の除去方法 〈6.2.2(1)〉
・ 目荒工法 ・ 機械的除去工法

3．改修後の床の清掃範囲

・ 当該室全体 ・ 図示の範囲 〈6.2.2(3)〉

4．既存壁の撤去・下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 〈6.3.2(1)〉
※ 〈4.4.9〉による ・（ ）

5．木 材

表面仕上げの程度 〈6.5.1(3)〉

表面仕上げの種別		適用箇所
機械加工	・Ａ種	
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
手加工	・Ｈ－Ａ種	
	・Ｈ－Ｂ種	
	・Ｈ－Ｃ種	

含水率 下地材 ※ Ａ種 ・ Ｂ種 〈6.5.2(1)〉〈表6.5.3〉
造作材 ※ Ａ種 ・ Ｂ種

造作材の材面の品質 ※ Ａ種 ・ Ｂ種 〈6.5.2(2)〉〈表6.5.4〉

6．集成材

造作用集成材は〈6.5.2(3)〉による 〈6.5.2〉

見付け材面等級	JASによる集成材		その他
	※ １等	・ ２等	※ JAS集成材１等同等
単材の樹種			
単材の厚さ(mm)	10～15		10～15

7．床張り用合板

下地用合板 (12.2.1)
※ JASの構造用合板 特類 ２等以上 Ｃ－Ｄ以上
・（ ）

8．防腐・防蟻・防虫処理

薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 〈6.5.5〉
適用部材（ ） 保存処理性能区分 ・K2 ・K3 ・K4
薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理を行う。
防虫処理
ラワン材 保存処理性能区分 ※K1

9．軽量鉄骨天井下地材

野縁などの種類 〈6.6.2〉〈表6.6.1〉
屋内 ※ 19型 ・ 25型 （室名： ）
屋外 ・ 19型 ※ 25型

インサート 〈6.6.4(1)〉
・ 既存インサートを使用する ・ あと施工アンカーを設ける

あと施工アンカーの確認試験 〈6.6.4(1)〉
・ 行う ※ 行わない

耐震性を考慮した補強 〈6.6.4(10)〉
※ 行わない ・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）

耐風圧性を考慮した補強（ピロティ、屋外軒天井等） 〈6.6.4(11)〉
※ 行わない ・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）

10．軽量鉄骨壁下地材

スタッド、ランナーなどの種類は〈表6.7.1〉による。 〈6.7.3〉〈表6.7.1〉

11．体育館の鋼製床下地

※ JIS A 6519のJIS表示認証製品

12．ビニル床シート張り

JIS A5705のJIS表示認証製品 〈6.8.2〉〈6.8.3〉

種類	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
※ 発泡層のないもの	※FS ・TS	※無地 ・マーブル	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・耐動荷重	※熱溶接 ・突付け
・ 発泡層のあるもの	・HS ・KS	・	・	・	・

目地処理する場合の工法 ・熱溶接工法

13．ビニル床タイル張り

JIS A5705のJIS表示認証製品 〈6.8.2〉

種類	記号	寸法	厚さ(mm)	特殊機能
※ コンポジションビニル床タイル	※ ＫＴ	※ 300×300 ・	※ 2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重
・ ホモジニアスビニル床タイル	・ ＦＴ	・ 300×300 ・ 450×450	・ 2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重

目地処理する場合の工法 ・熱溶接工法

14．ビニル床タイル・ビニル床シートの特殊機能

帯電防止 〈6.8.2〉
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）1.2～3.1程度
又は耐電圧（JIS L 1023)3kV以下
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）3.2～5.1程度
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454) 1×100オーム未満
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）5.2以上
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454) 1×10オーム未満

耐動荷重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。

15．視覚障害者用床タイル

〈6.8.2〉

材質	寸法(mm)
・ 塩化ビニル系 ・ せっ器質タイル系	300×300

16．ビニル幅木

材 種 ※ 軟質 ・ 硬質 ・ 溶接 〈6.8.2〉
高 さ(mm) ・ 60 ※ 75 ・ 100
厚 さ(mm) ・ 1.5 ※ 2.0

6 内装改修工事

17．カーペット敷き

・ タフテッドカーペット 〈6.9.2～3〉〈表6.9.2〉

施工箇所	パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	品質	帯電性
	・	・	※全面接着工法 ・グリッパー工法		・〈6.9.2(2)〉による

・ タイルカーペット 〈6.9.2～3〉〈表6.9.1〉

施工箇所	種類	パイル形状	寸法	総厚さ	帯電性
	※第１種 ・第２種	※ループパイル ・カットパイル	※500×500 ・	※ 6.5 ・	製造所の仕様による

18．合成樹脂塗床

材料の種類 〈6.10.2〉
・ 厚膜型塗床材
・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材
・ エポキシ樹脂系塗床材
・ 薄膜型塗床材（エポキシ樹脂系塗床材）

仕上の種類 〈6.10.3〉
・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ

19．フローリング張り

・単層フローリング 〈6.11.2～6〉〈表6.11.1～6〉

種別	樹種	厚さ(mm)	工法	塗装
・ フローリングボード１等	※なら ・	※１５幅 ７５ ・ 長さ400以上	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス ・生地のままワックス ・既塗装品
・ フローリングブロック１等	※なら ・	※１５（303×303） ・	・接着工法	

・複合フローリング

種別	樹種	種別	防湿処理	工法	塗装
・ 複合フローリング	※なら ・さくら ・ひのき ・	・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種	・行う ※行わない	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・既塗装品
・ 大型積層フローリング	・なら ・さくら ・	・	・行う ・行わない	・特殊張り工法（体育館床）	

20．畳敷き

畳の種別 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 〈6.12.2〉〈表6.12.1〉
※ Ｃ種 ・ Ｄ種（ ）

㉑．石こうボードその他ボード張り

〈6.13.2～3〉〈表6.13.1〉〈表6.13.5〉

種類又は記号	種別など	厚さ(mm)		規格番号
けい酸カルシウム板（繊維強化セメント板）0.8ＦＫ又は1.0ＦＫ		壁	・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 5430 (タイプ2)
		天井	・ 6(不燃) ・ 12(不燃)	
グラスウール吸音ボード（吸音材料）ＧＷ－Ｂ	ガラスクロス(JIS A 3414 EP18程度)額縁張り品		25(不燃)	JIS A 6301 (32K)
ロックウール化粧吸音板（吸音材料）ＤＲ	※ 内部用 ・ 軒天用	普通	※ 9(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 6301
		立体模様	・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃)	
せっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－Ｒ		壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・ 15(不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	
シージングせっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－Ｓ		壁	12.5(準不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(準不燃)	
不燃積層せっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－ＮＣ	トラバーチン模様 色 ※白 ・黄		9.5(不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－Ｄ	木目模様	壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901
	木目模様（裏桟付き）特殊模様	天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	

せっこうボードの目地処理 ・ 継目処理工法 ※ 突き付けＶ目地工法
・ 突き付け工法 ・ 目透し工法

22．遮音シール材

・アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド 〈6.13.2〉

23．壁紙張り

〈6.14.2〉

施工箇所	品質	防火種別
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他

㉔．タイル張り

タイルの種類 JIS A 5209のJIS表示認証製品 〈6.16.3〉

施工箇所	形状寸法(mm)	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有	役物 無	色 標準	色 注文	再生材利用タイル	備考
床	150×150	⊙	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	

内装タイルの工法 〈6.16.3～4〉
・ 改良積上げ張り 施工箇所（ ）
・ 接着剤張り 施工箇所（ ）

7 塗装改修工事

25．セルフレベリング材塗り

種別 ・ 石こう系 ・ セメント系 〈6.17.2～3〉
塗厚 ※ 10mm ・

1．防火材料

〈7.1.3〉
※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。 （ ）

②．下地調整

〈7.2.1〉
塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲
※塗替え面積の30% ・図示

〈7.2.2～7〉〈表7.2.1～7〉

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	新規		ひび割れ部の補修
木部	※RB種	・RA種	・RB種	－
鉄鋼面	※RB種	RA種		－
亜鉛めっき鋼面	※RB種	RA種		－
モルタル面、プラスター面	※RB種	・RA種	・RB種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP以外）、ALCパネル面	※RB種	・RA種	・RB種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP）、押出成形セメント板面	・	RA種		・行う ・行わない
せっこうボード面、その他ボード面	※RB種	・RA種	・RB種	－

③．錆止め塗料塗り

〈7.3.2～3〉〈表7.3.1～4〉

塗装面			塗料	工程
鉄鋼面	EP－Ｇ以外	塗替え	Ａ種	※Ｃ種
		新規見え掛り	Ａ種	※Ａ種
		新規見え隠れ	Ａ種	※Ｂ種
	EP－Ｇ	塗替え	Ｂ種	※Ｃ種
		新規見え掛り	Ｂ種	※Ａ種
		新規見え隠れ	Ｂ種	※Ｂ種
亜鉛めっき鋼面	EP－Ｇ以外	塗替え	※Ｂ種	※Ｃ種
		新規（鋼製建具）	※Ｂ種	※Ａ種
		新規（鋼製建具以外）	※Ｂ種	※Ｃ種
	EP－Ｇ	塗替え	※Ｂ種	※Ｃ種
		新規（鋼製建具）	※Ｂ種	※Ａ種
		新規（鋼製建具以外）	※Ｂ種	※Ｃ種

④．各種塗装

〈7.4.2～14.2〉〈表7.4.1～14.1〉

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
・合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）塗料の種別 ※１種 ・２種	木部屋外	※Ｂ種	※Ａ種
	木部屋内	※Ｂ種	※Ｂ種
	鉄鋼面	※Ｂ種	※Ｂ種 ・Ａ種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※Ａ種	※Ｂ種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※Ｂ種	※Ｂ種
・クリヤラッカー塗り（CL）		※Ｂ種 ・Ａ種	※Ｂ種 ・Ａ種
・フタル酸樹脂エナメル塗り（FE）		－	－
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り（NAD）		※Ｂ種 ・Ａ種	※Ｂ種 ・Ａ種
⊙耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面 上塗り等級（１）級	⊙Ｂ種	Ａ種
	亜鉛めっき面 上塗り等級（ ）級	・	Ａ種
	コンクリート面 押出成形セメント板面	・	・
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP－Ｇ）	コンクリート面等	※Ｂ種	※Ｂ種 ・Ａ種
	屋内の木部	※Ｂ種	・Ａ種
	屋内の鉄鋼面	※Ｂ種	※Ｂ種 ・Ａ種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※Ｂ種	※Ｂ種 ・Ａ種
・合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）		※Ｂ種	※Ｂ種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り（EP－Ｔ）		※Ｂ種	※Ｂ種 ・Ａ種
・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）		※Ｂ種 ・Ａ種	※Ｂ種 ・Ａ種
・オイルステイン塗り（OS）		－	－
・木材保護塗料塗り（WP）		※Ｂ種 ・Ａ種	※Ｂ種 ・Ａ種

8－1 耐震改修工事

1．鉄筋の種類

〈8.2.1〉〈表8.2.1〉

規格名称	種類の記号	径(mm)
鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295Ａ ※ SD345	※ Ｄ16以下 ・ ※ Ｄ19以上 ・

2．溶接金網

※ JIS G 3551のJIS表示認証製品 〈8.2.2〉
線径(mm) 6.0 × 網目(mm) 100
使用箇所（ ）

3．鉄筋の継手

径 19 mm 以上 ※ ガス圧接 ・ 重ね継手 〈8.3.4〉

4．柱の帯筋

・ 図示

5．圧接完了後の抜取試験

試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験 〈8.3.8〉

8－2 耐震改修工事（コンクリート工事）

1．設計基準強度

普通コンクリート（N/mm2） 〈8.1.3〉

設計基準強度	適用箇所
※ ２１	

2．レディーミクストコンクリート

類別 ※ Ⅰ類 ・ Ⅱ類 〈8.1.3〉〈表8.1.1〉

3．打放し仕上げの種別

〈8.1.4〉〈表8.1.4〉

種別	適用箇所
・ Ａ種	
※ Ｂ種	
・ Ｃ種	

4．セメントの種類

〈8.2.5〉

セメントの種類	適用範囲
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントＡ種 シリカセメントＡ種又はフライアッシュセメントＡ種	建物躯体（下記以外）
・高炉セメントＢ種	基礎、地中梁
・フライアッシュセメントＢ種	基礎、地中梁

5．骨 材

使用骨材のアルカリシリカ反応による区分 〈8.2.5〉
※ Ａ ・ Ｂ

6．混和材料

混和剤 ※ AE剤、AE減水剤Ｉ種又は高性能ＡＥ減水剤 〈8.2.5〉

7．軽量コンクリート

〈8.9.1〉〈表8.9.1〉

種別	適用箇所	気乾単位容積質量(t/m3)

8．無筋コンクリート

〈8.11.1〉

適用箇所

9．グラウト材

無収縮グラウト材は、製造所で調合された材料を使用する。 〈8.2.12〉
圧縮強度(N/mm2) ：30以上

コンシステンシーJ14: ロート値(秒) ６～10

乾燥収縮(×１０$^{-4}$) ：０

10．柱底等の均しモルタル

無収縮モルタル材 ・ 使用する ・ 使用しない 〈8.2.12〉

11．型 枠

せき板の種類 ※ 12mm合板 ・ 〈8.2.7〉
せき板の塗料 ※ 無 ・ 有

12．コンクリートの打込み工法

※ 流込み工法 ・ 圧入工法 〈8.21.8〉〈8.23.5〉

13．既存部分の撤去

既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ 〈8.21.2〉
既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ・

8－3 耐震改修工事（あと施工アンカー工事）

1．あと施工アンカー

〈8.2.4〉
※ 接着系アンカー ［引張耐力 (KN)，せん断耐力 (KN)］
アンカーの種類 ※カプセル型回転・打撃式
接着剤 ※ 有機系 ・ 無機系
・ 金属系アンカー ［引張耐力 (KN)，せん断耐力 (KN)］
打込み方式 ※ 本体打込み式改良型

2．あと施工アンカーの試験

性能確認試験 ※ 行わない ・ 行う 〈8.2.4〉
施工確認試験 ※ 行う ・ 行わない 〈8.12.7〉

3．埋込配管等の探査

範囲 ※穿孔箇所すべて ・図示 〈8.12.4〉

8－4 耐震改修工事（鉄骨工事）

1．鉄骨製作工場

※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 〈8.1.5〉
・ Ｓ ・ Ｈ ・ Ｍ ・ Ｒ ・ Ｊ
・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場

2．鋼材の種類

〈8.2.8〉〈表8.2.7〉

材質	規格
・SS400 ・SSC400 ・STK400 ・STKR400	JIS表示認証製品
・SN400B,C ・SN490B,C ・SM400 ・SM490	
・	

3．高力ボルト

〈8.2.9〉

ボルト種別	セットの種類
※トルシア形高力ボルト	※建築基準法に基づき認定を受けたもの
・ＪＩＳ形高力ボルト	※２種(F10T) ・
・溶融亜鉛メッキ高力ボルト	※１種(F8T相当) ・

4．溶接部の試験

※超音波探傷試験 〈8.15.12〉

5．錆び止め塗装

〈7.3.2～3〉による。 〈8.17.4〉

6．耐火被覆

〈8.18.2～8〉

種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)
・耐火材吹き付け	・乾式 吹付けロックウール		
	・半乾式 吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入 けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り			
・耐火塗料			

備考	設計担当者	工事名	図面内容	縮尺（原図A1版）	縮尺（縮小A3版）
		岩手県立久慈病院浸水対策ほか工事	建築工事特記仕様書(3)	S=NON	S=NON
			設計年月 令和７年８月	区分 建 築	No A-03

7．アンカーボルト (7.2.4)

種　別	適　用　箇　所
・Ａ　種	
※Ｂ　種	
・Ｃ　種	

8．既存部分の撤去
既存仕上げの撤去範囲　※ 図示　・ 〈8.22.2〉
既存躯体の撤去範囲　※ 図示　・

8-5 耐震改修工事（柱補強工事）

1．工　法
・ 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 〈8.23.5〉
溶接金網の継ぎ手　※ 重ね継ぎ手
コンクリート及び構造躯体用のモルタルの打設
・ 圧入工法　・ 流し込み工法
・ 鋼板巻き工法 〈8.23.6〉
・ 帯板巻き付け工法 〈8.23.6〉

2．既存部分の撤去
既存仕上げの撤去範囲　※ 図示　・ 〈8.23.2〉
既存躯体の撤去範囲　※ 図示　・

8-6 耐震改修工事（耐震スリット）

1．スリットの種類
・ 完全スリット　・ 部分スリット 〈8.25.1〉

2．スリットの充填材
耐火材の使用　・ 使用する　・ 使用しない 〈8.25.2〉
適用箇所　※ 図示
遮音材の使用　・ 使用する　・ 使用しない
適用箇所　※ 図示

8-7 耐震改修工事（連続繊維補強工事）

1．連続繊維シート
・下地処理 〈8.2.13〉〈8.24.6〉
・ひび割れ部改修
範囲　・図示による（　　）
種類　・

連続繊維補強材の強度試験
・引張強度試験
※JIS A 1191（コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法）による
・
試験数量　・図示による（　　）
・付着強度試験
※JIS A 6909（建築用仕上塗材）による
・
試験数量　・図示による（　　）

8-8 土工事及び地業工事

1．埋戻し及び盛土
埋戻し及び盛土 〈8.28.3〉
・Ａ種　適用場所（　　）
・Ｂ種　適用場所（　　）
・Ｃ種　適用場所（　　）　土質（　　）
受渡場所（　　）
・Ｄ種　適用場所（　　）

2．建設発生土の処理
・構外に搬出し適切に処理する。
・構外指示の場所に搬出する。
受入れ施設名・住所（km）
・構内指示の場所に敷きならす。
・構内指示の場所にたい積する。

3．山留めの撤去
鋼矢板等の抜き後の処理 〈8.28.3〉
・ ※直ちに砂で充填する
山留めの存置
・行う　（存置範囲　※図示（・　　））
・

4．砂利地業
材料 〈8.2.15〉〈8.28.4〉
※再生クラッシャラン
・切込み砂利又は切込み砕石
厚さ及び適用範囲

厚さ	適　用　箇　所
※60	・基礎スラブ下　・基礎梁下　・土間コンクリート下 ・土に接するスラブ下
・	・

5．捨コンクリート地業
厚さ及び適用範囲 〈8.2.15〉〈8.28.4〉

厚さ	適　用　箇　所
※50	・基礎スラブ下　・基礎梁下　・土間コンクリート下 ・土に接するスラブ下
・	・

6．床下防湿層
材料 (4.6.2)
・
※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上
施工範囲 (4.6.5)
・図示（　　）

9-1 環境配慮改修工事（石綿含有建材の処理工事）

① 石綿含有建材の除去工事
施工調査 〈9.1.1、3～5〉
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。
調査範囲（内壁：7-12.5石膏ﾎﾞｰﾄﾞ　撤去部分　）
貸与資料（　　）

⊙分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソライト、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材　料　名	定性分析方法	定量分析方法
	JIS A 1481 または JIS A 1481-2	JIS A1481-3または JIS A 1481-4
⊙ 7-12.5石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	⊙ 壁3、天井1　4箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所

サンプル数　1箇所あたり３サンプル
採取箇所　内壁・天井　撤去部分

・石綿粉じん濃度測定（レベル3により任意） 〈9.1.1〉
測定点　測定時期、場所及び

適用	測定名称	測　定　時　期	測　定　場　所	測定個所数
・	測定１	処理作業前	処理作業室内	・計　点
・	測定２		調査対象室外部の付近	・計　点
・	測定３	処理作業中	処理作業室内	・計　点
・ ・	測定４		セキュリティゾーン入口	・計　点
・	測定５		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置
・	測定６		処理作業室外 ・施工区画周辺 ⊙敷地境界	⊙計　４　点
・	測定７	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計　点
・	測定８	処理作業後シート	処理作業室内	・計　点
・	測定９	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計　点

測定方法
・自動測定器による測定

測　定　名　称	測　定　方　法
・測　定　４ ・測　定　５	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測　定　名　称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
・測定４　・ ・測定５	25	5	30
・測定 ・	47	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲　・図示　・
除去工法　・　※9.1.3(2)(7)による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲　・図示　・
除去工法　・破砕して除去　・手ばらし
除去した石綿含有保温剤等の飛散防止
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
・石綿含有成形板の除去
除去対象範囲　・図示
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分（管理型最終処分場）
・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
・埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
石綿含有建材除去後の仕上げ工事　・図示　・

石綿含有建材等調査結果（設計業務委託時）

試料No.	調査試料名称	調査箇所	石綿の有無	石綿等の種類

※石綿含有建材等・・・石綿含有建材、PCB含有建材を言う。

9-2 環境配慮改修工事（断熱化工事）

1．断　熱　材
断熱材の打込み及び現場発泡工法 (19.9.2)(19.9.3)

種　類		箇　所	厚さ(mm)	備　考
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・Ａ種ビーズ法 ※Ａ種押出法 ２種ｂ		・ 25 ・	JIS A 9521の JIS表示認証製品
※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（Ａ種）	・２種ｂ ・３種ｂ（スキン層あり）	下記以外 接地部分及び屋根防水部分ピット内部	※ 25 ・	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ ・	・	・	
・ フェノールフォーム断熱材	・ ・	・	・	JIS A 9521の JIS表示認証製品
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材	※Ａ種１Ｈ ・	・	※ 30 ・	JIS A 9526 による難燃性 ・２級　※３級
・	・	・	・	

※　施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。

上記以外に用いる断熱材

種　類	箇　所	厚さ(mm)	備　考
・ ＪＩＳＡ発泡プラスチック保温材	・Ａ種ビーズ法 ※Ａ種押出法　下記以外 ２種ｂ ※Ａ種押出法　接地部分及び屋根防水部分ピット内部 ３種ｂ （スキン層あり）	※ 25	JIS表示認証製品
・ グラスウール保温材	※24Ｋ品 ・	※ 100	JIS表示認証製品

※　グラスウール使用部分の室内側防湿シート
※　被覆品　・防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り　(重ね100)

10 パネル・押出成形セメント板工事（コンクリートブロック・ＡＬＣ）

1．コンクリートブロック帳壁及び塀
ブロックの種類 (8.3.2)(表8.3.1)
※　空洞ブロック　Ｃ(１６)

11 舗装工事

① 再　生　材
※　使用する　・　使用しない (22.1.3)

② 盛土材料
路床の盛土材料　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 (22.2.3)

3．フィルター層及び凍上抑制層用材料
フィルター層　※　砂 (22.2.2)(22.2.3)
凍上抑制層　※　再生クラッシャラン　・　切込砂利又は切込砕石

④ 路床安定処理
路床安定処理添加材料 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.1)
※　普通ポルトランドセメント　・　高炉セメントＢ種
・　フライアッシュセメントＢ種
・　生石灰（・特号　・１号）　・　消石灰(・特号　・１号)

⑤ 砂の粒度試験
※　行わない　・　行う (22.2.3)

6．路床土の支持力比（CBR）試験
※　行わない　・　行う（※　乱した土　・　乱さない土） (22.2.5)

⑦ 路床の締固め度の試験
・　行わない　※　行う（箇所:埋戻し及び盛土部） (22.2.5)

⑧ 路盤材料
※　再生クラッシャラン　ＲＣ－40 (22.3.3)(表22.3.1)
（透水性舗装の場合を除く）
・　クラッシャラン　Ｃ－40
・　クラッシャランスラグ　ＣＳ－40

⑨ 路盤の締固め度の試験
※　行う (22.3.5)

⑩ アスファルト舗装
加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.2)(22.4.4)(表22.4.4)

表　層	※　再生密粒度アスファルト混合物（13） ・　密粒度アスファルト混合物（13） ・　細粒度アスファルト混合物（13） ・	舗装の厚さは図示による
基　層	※　再生粗粒度アスファルト混合物（20） ・　粗粒度アスファルト混合物（20） ・	

舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする
アスファルト混合物等の抽出試験　※行わない　・行う (22.4.6)

11．コンクリート舗装
早強ポルトランドセメント　・　使用する　※　使用しない (22.5.3)
溶接金網　※　あり　・　なし

12．カラー舗装 (22.6.2)

種　類		部　位		厚　さ(mm)
加熱系	※　アスファルト混合物	・　車道部	・　歩道部	図示による
	・　石油樹脂系混合物	・　車道部	・　歩道部	
常温系	・　ニート工法	・　車道部	・　歩道部	３～５
	・　塗布工法	・　車道部	・　歩道部	１程度以下

着色骨材・自然石（　　） (22.6.3)

13．透水性アスファルト舗装
構成　・図示 (22.7.2)(22.7.6)
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　※行わない　・行う
舗装の平たん性は著しい不陸がないものとする

⑭ ブロック系舗装
⊙　インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.4)(表22.8.1)
・　コンクリート平板舗装　※　砂目地　・　モルタル目地
・　舗石舗装基層　※　コンクリート版　・　アスファルト混合物

⑮ 砂利敷き
※　Ａ種（通路）　※　Ｂ種（建物周囲その他） (22.9.2)

⑯ 区　画　線
※　JIS　K　5665　３種１号

12 ユニット及びその他の工事

1．フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工場所	工法	仕上高(mm)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ
	・溝工法（置敷工法）		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000 ・	・帯電防止床タイル ・タイル
	・支柱一体型パネル工法（置敷工法）				
	・支柱分離型パネル工法（支柱調整式工法）				

ボーダー部　※　一般部分の仕様に準ずる　・　図示による
床表面仕上げ材の品質は標準仕様書19章による。
配線取出し用切り欠きパネルは１枚／㎡以上とする。
空調用吹き出し(吸い込み)パネル　※　なし
・　有り（※固定式　・可変式）
施工箇所は図示

2．可動間仕切（パーテーション） (20.2.3)
構造形式による種類　スタッド式（内蔵）
構成基材　・アルミニウム合金系　・スチール系
パネル表面材　焼付塗装鋼板（標準色）ｔ＝0.5以上
遮音性　３６dB/500Hz以上
防火性能　不燃

3．移動間仕切（スライディングドア） (20.2.4)
パネルの操作方法による種類　規定しない
パネル表面材の材質及び仕上げ　製造所仕様の化粧鋼板（標準色）ｔ＝０．５以上
パネル圧接装置の操作方法　ハンドル回転式又はプッシュ式
遮音性　３６dB/500Hz以上
防火性能　不燃
取り付け用あと施工アンカー　材質，寸法等は図示又は製造所の仕様による

4．トイレブース (20.2.5)
・図　示（図面No.　　）

5．階段滑り止め（ノンスリップ） (20.2.6)
材　種　ステンレス（SUS304）
ビニールタイヤ入り（幅約35mm）
取り付け方法　※　接着工法　・　埋込み工法

6．床目地棒
ステンレスＦＢ（SUS304）　ｔ５～６×Ｈ12 (20.2.7)
（床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）

7．鏡
耐湿鏡　ｔ＝５　ステンレスフレーム付き (20.2.9)

8．表　示
衝突防止表示　ＨＬ仕上げ　Φ30程度　市販品　ステンレス製 (20.2.10)
誘導標識　市販品
室名札　アクリル板

9．点　検　口

施工箇所	材　種	寸　法	形　式
天　井	※　アルミニウム製 ・	※　４５０×４５０ ・　６００×６００	※　目地タイプ ・　額縁タイプ
床	※　アルミニウム製 ・	・　４５０×４５０ ※　６００×６００	※　一般形貼物用 ・　一般形充填用

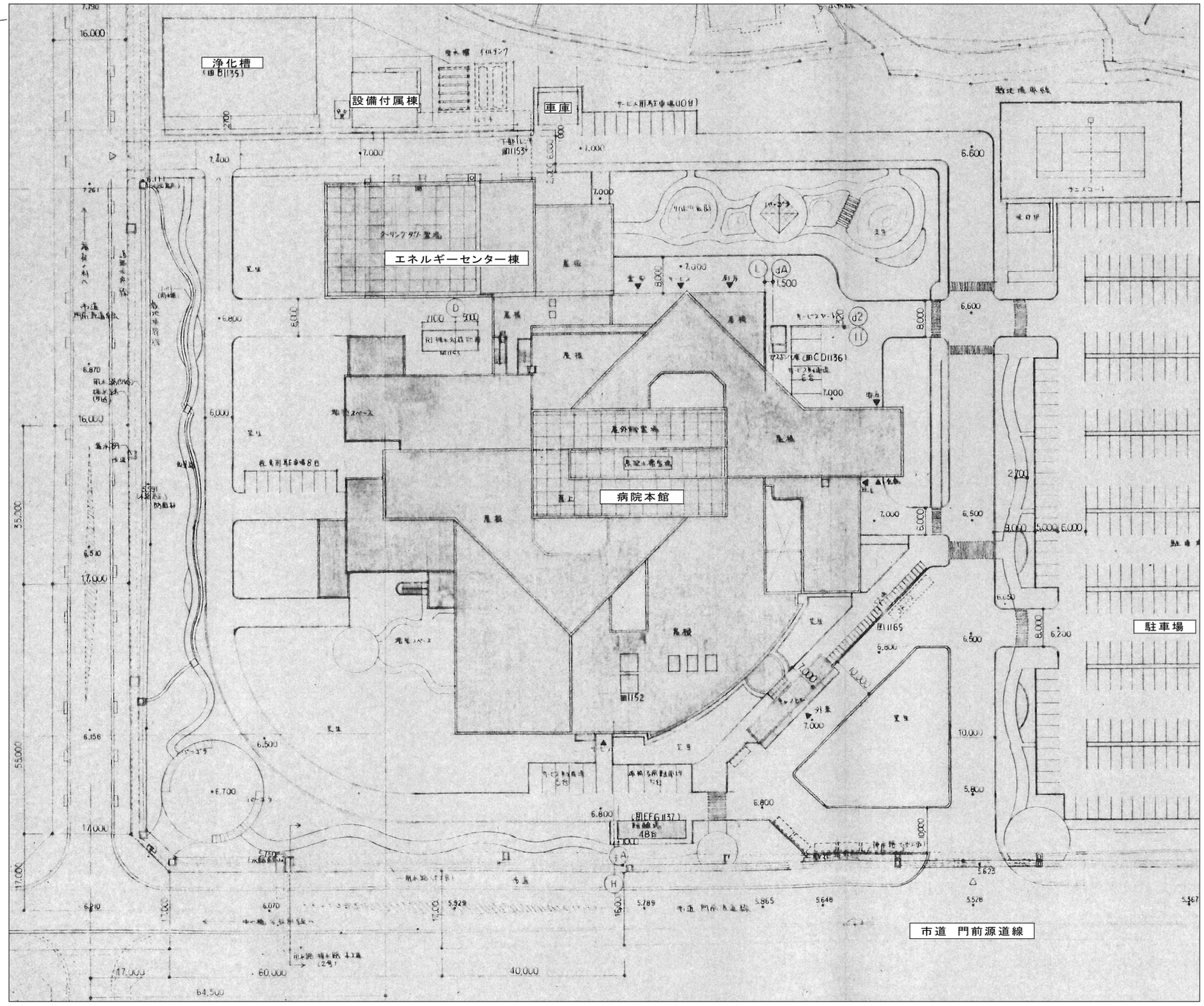
10．視覚障害者用誘導ブロック
屋　外　※　コンクリート製　・　磁器質タイル

備考	設計担当者	工事名	図面内容	縮尺（原図A1版）	縮尺（縮小A3版）
		岩手県立久慈病院浸水対策ほか工事	建築工事特記仕様書（4）	S=NON	S=NON
			設計年月　令和７年８月	区分　建　築	No　A-04

久慈市旭町10−1

出典：国土地理院地図　加工して作成

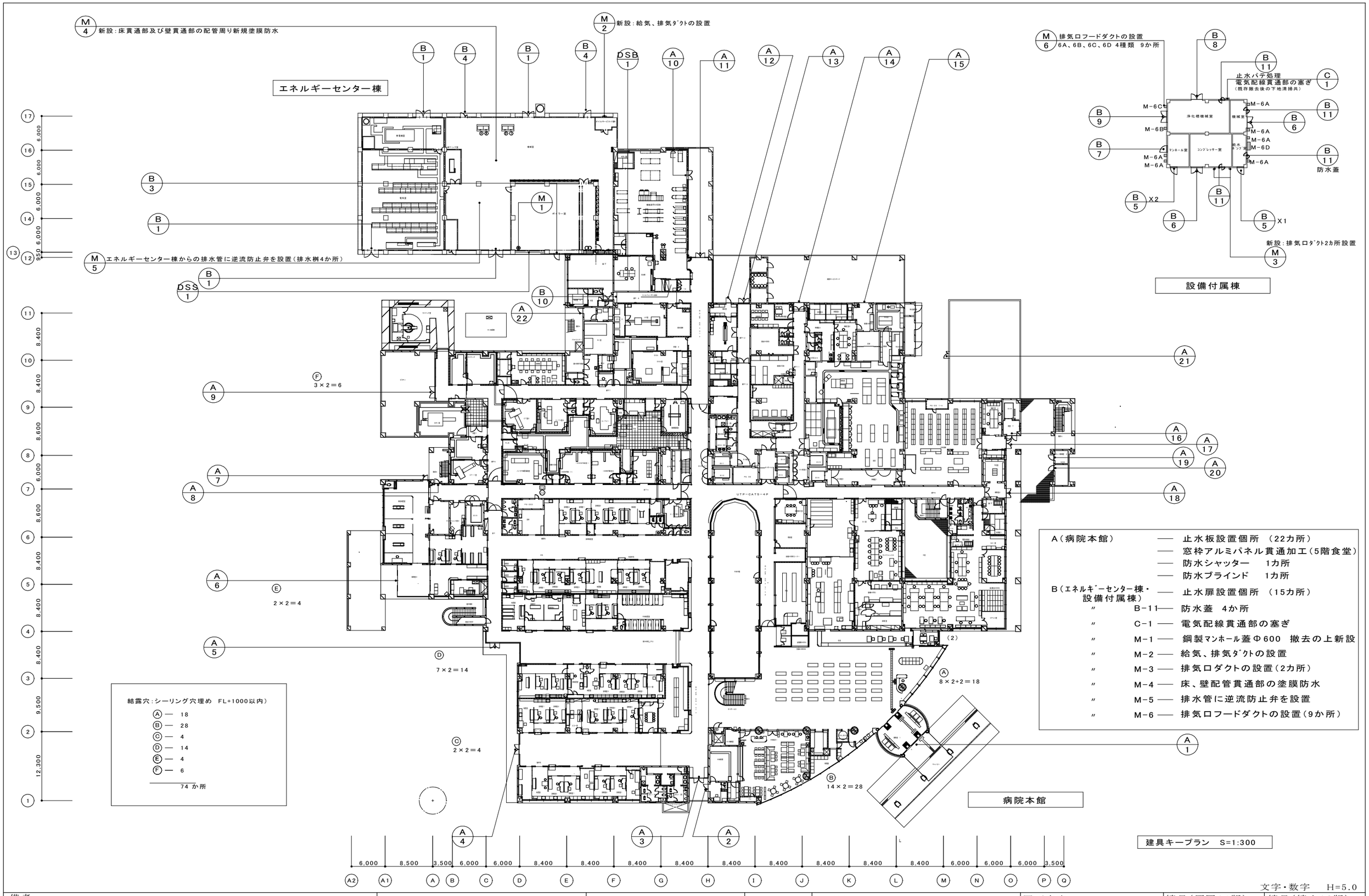
案内図



配置図　S=1:500

文字・数字　H=5.0

備考			設計担当者	工事名	図面内容	縮尺（原図A1版）	縮尺（縮小A3版）
				岩手県立久慈病院浸水対策ほか工事	案内図 配置図	S=1:500	S=1:1000
					設計年月　令和 7 年 8 月	区分　建　築	No　A−05

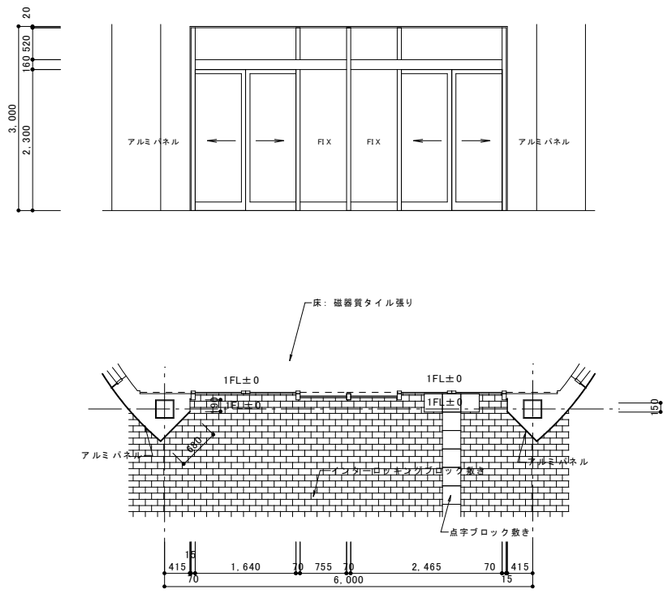


文字・数字 H=5.0

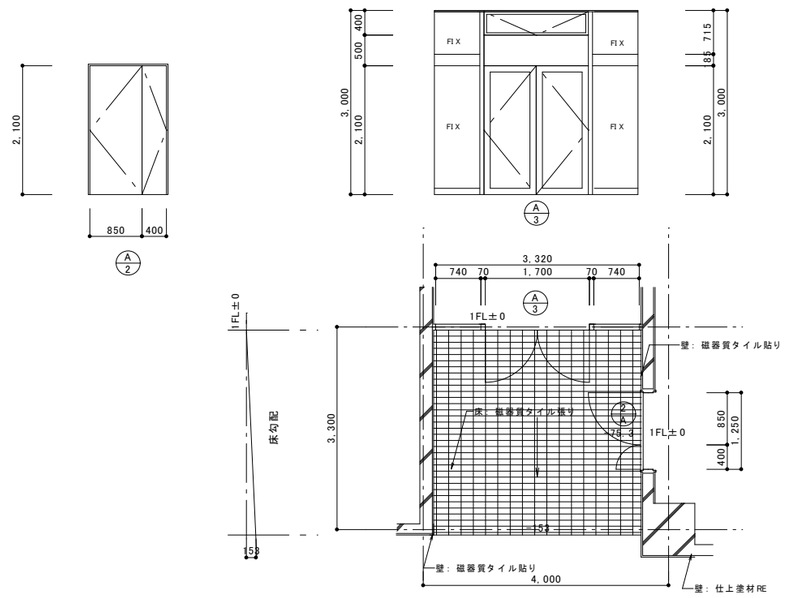
備考			設計担当者	工事名	図面内容	縮尺（原図A1版）	縮尺（縮小A3版）
				岩手県立久慈病院浸水対策ほか工事	建具キープラン	S=1:300	S=1:600
					設計年月 令和 7 年 8 月	区分 建 築	No A−06

名　称	A/1 片引き自動ドア（セミエアタイト） S=1:50	A/2 親子開きスチールフラッシュドア S=1:50	A/3 アルミ製FIX袖外倒しランマ付両開き框ドア（エアタイト）	A/4 アルミ製FIX袖外倒しランマ付両開き框ドア（エアタイト） S=1:50
寸　法	W=6000　H=3000	W=1250　H=2100	W=3320　H=3000	W=5540　H=3000
付属物	ドアエンジン・2PD・センサースイッチ		オペレーター	オペレーター
付属金物	安全装置付き		ピボットヒンジ、押棒、ドアチェック	ピボットヒンジ、押棒、ドアチェック
使用場所	1階　風除室	1階　事務3	1階　待合廊下1	1階　待合廊下1
数　量	1	1	1	1
仕　上	ステンレス　HL　SUS304　t ＝2.0	SOP	シルバー	シルバー
備　考	枠見込　100、強化ガラス　T12	枠見込　70	枠見込　100　強化ガラス　T-7	枠見込　100　強化ガラス　T-7

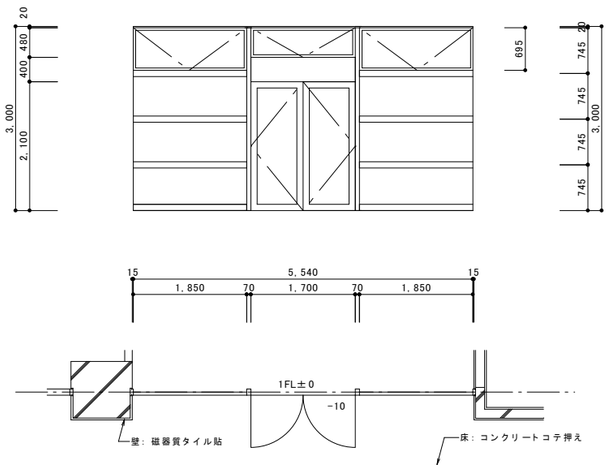
改修前



改修前

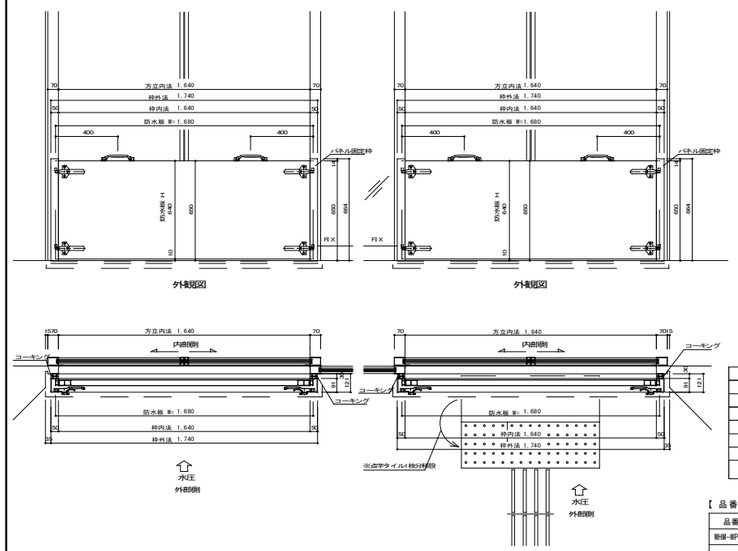


改修前



名　称	A/1 止水板詳細図 S=1:20	A/2 止水板詳細図 S=1:20	A/3 止水板詳細図 S=1:20

改修後



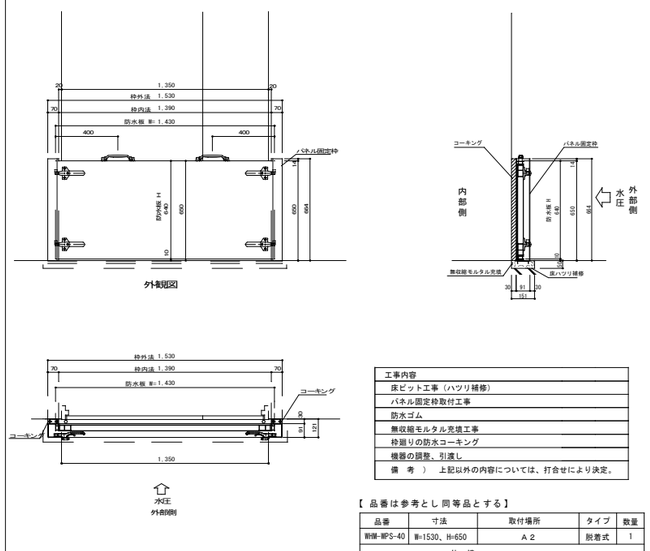
工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

【品番は参考とし同等品とする】

品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
新保-WPS-40	W=1740×2、H=650	A 1	脱着式	1
仕様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0t HL、下枠：SUS304-3.0t HL			
パネル	アルミアルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約14kg×2枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

改修後



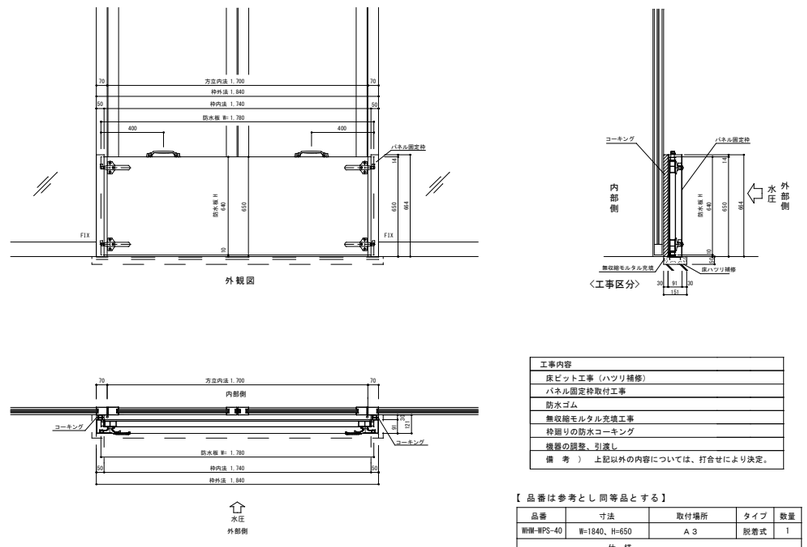
工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

【品番は参考とし同等品とする】

品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
新保-WPS-40	W=1530、H=650	A 2	脱着式	1
仕様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0t HL、下枠：SUS304-3.0t HL			
パネル	アルミアルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約11kg×1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

改修後



工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

【品番は参考とし同等品とする】

品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
新保-WPS-40	W=1840、H=650	A 3	脱着式	1
仕様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0t HL、下枠：SUS304-3.0t HL			
パネル	アルミアルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約14kg×1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

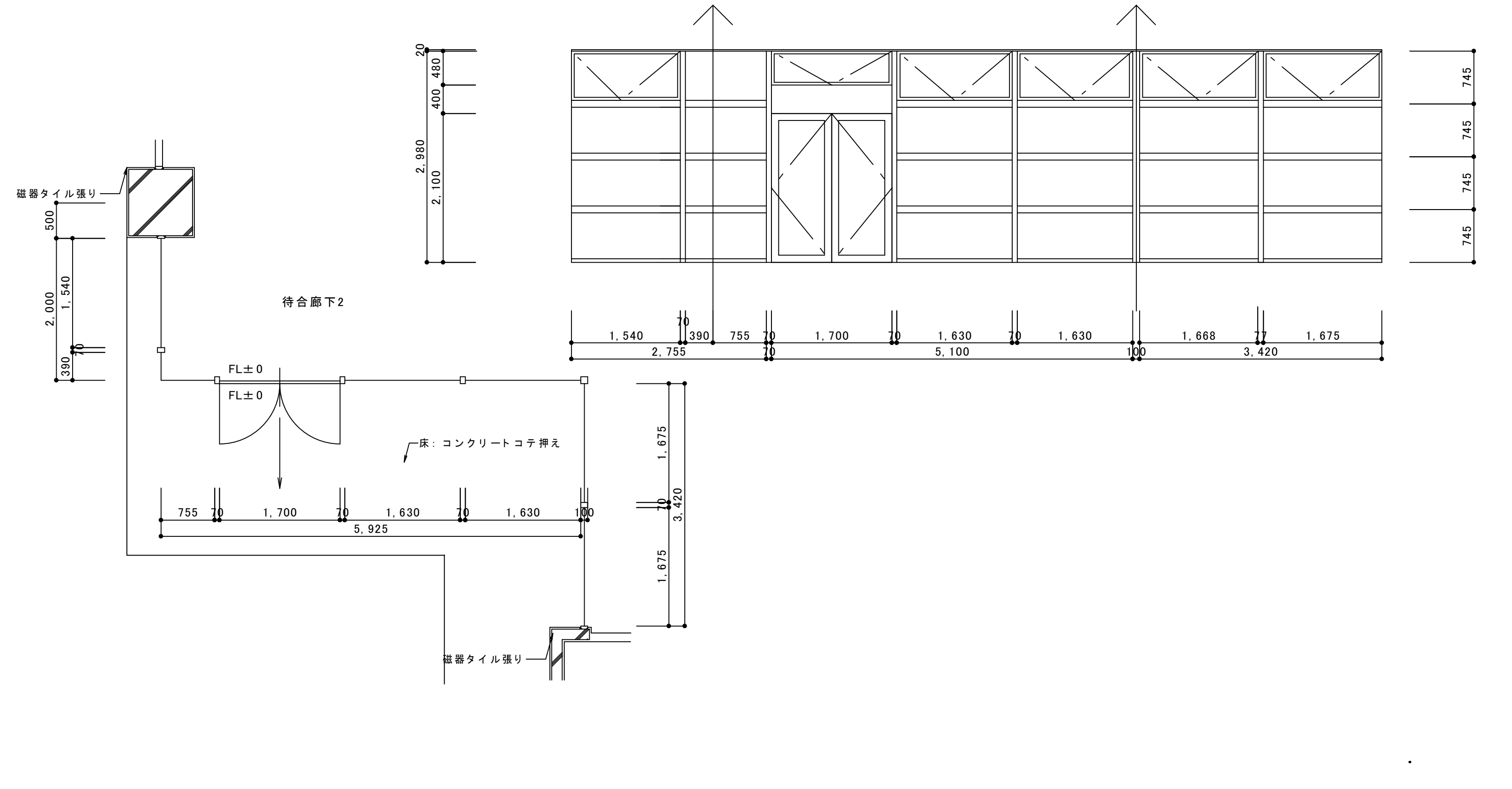
※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

文字・数字　H=5.0

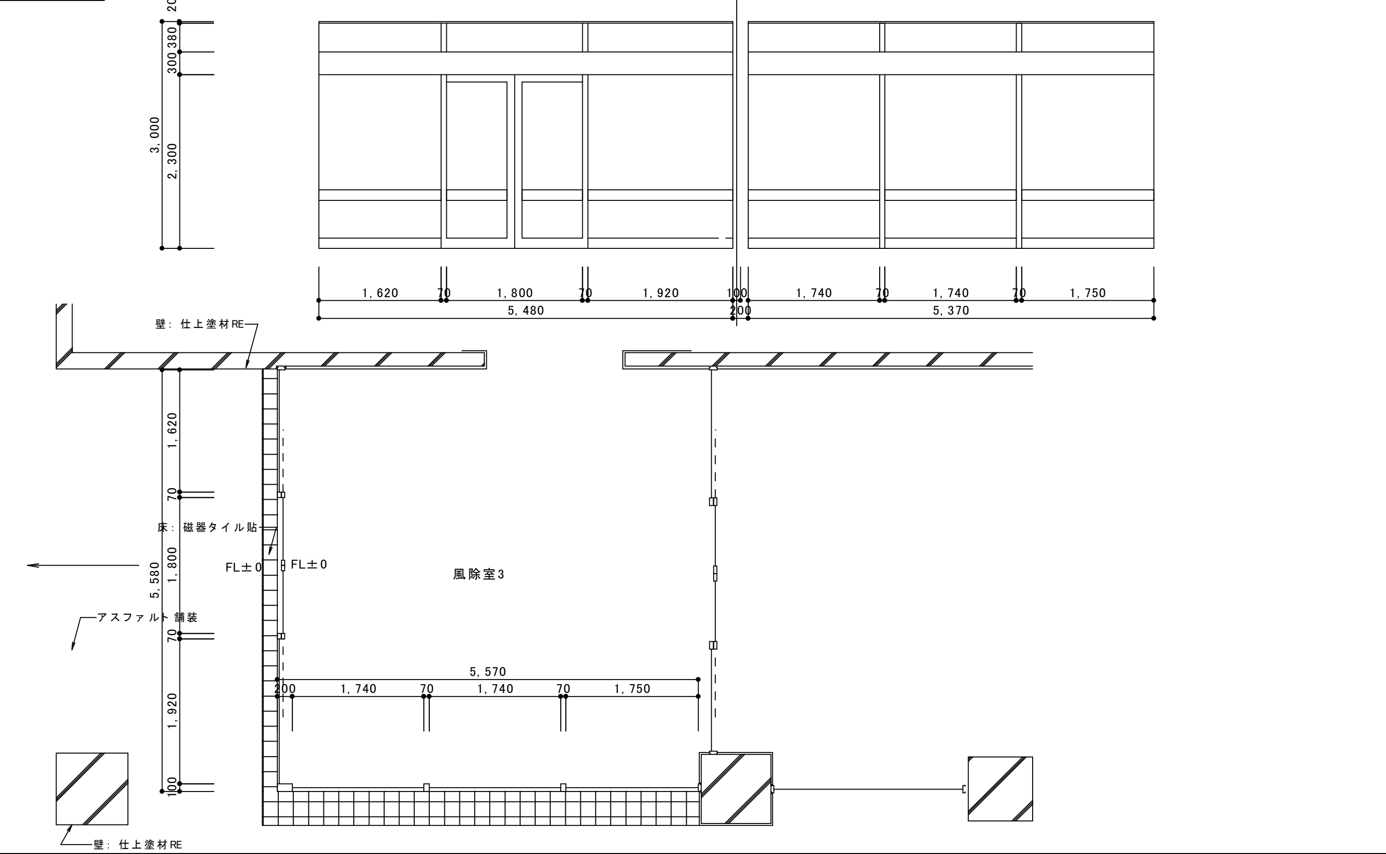
備考	設計担当者	工事名	図面内容	縮尺（原図A1版）	縮尺（縮小A3版）
		岩手県立久慈病院浸水対策ほか工事	A 建具表-1（止水板詳細図）	S=1:50 S=1:20	S=1:100 S=1:40
			設計年月　令和 7 年 8 月	区分　建築	No　A-07

名　　称	A/5　FIX袖外倒しランマ付両開きドア　S=1: 50	A/6　FIX袖外倒しランマ付両開き自動ドア　S=1: 50
寸　　法	W=11445　H=3000	W=11150　H=3000
付 属 物	OP、ペアガラス（透明磨き板ガラス）	ドアエンジン、マットスイッチ、安全装置、ペアガラス（透明磨き板ガラス）
付属金物	ピボットヒンジ、押棒、ドアチェック、シリンダー錠	シリンダー錠
使用場所	1階　待合廊下2	1階　風除室3
数　　量	1	1
仕　　上	シルバー	シルバー
備　　考	枠見込　100、強化ガラス　T12、T6	枠見込　100　強化ガラス　T-7

改修前

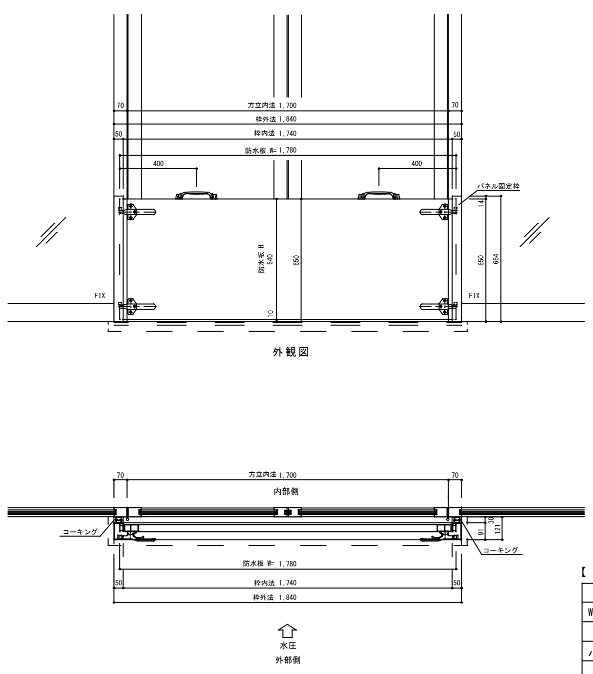


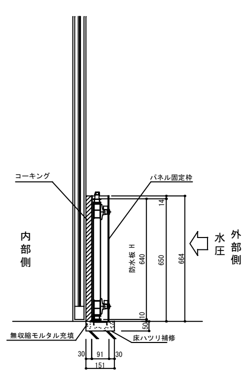
改修前



名　　称	A/4　止水板詳細図	S=1: 20

改修後





工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

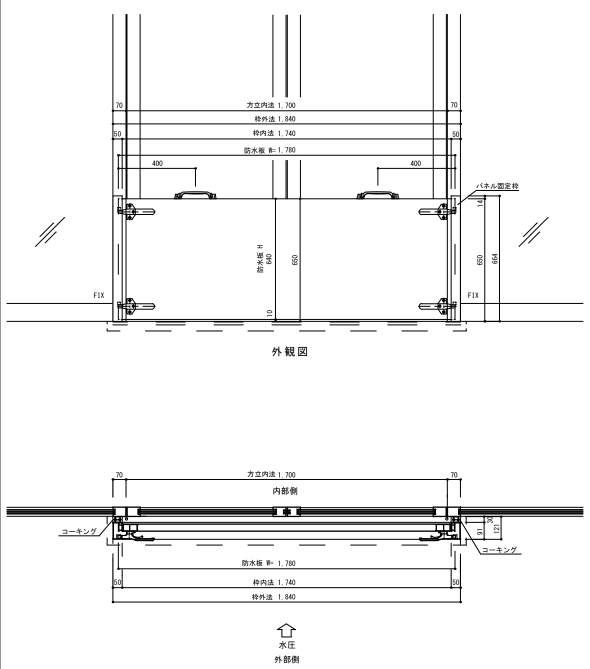
【 品番は参考とし同等品とする】

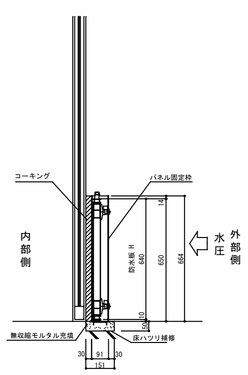
品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
WHM-WPS-40	W=1840、H=650	A4	脱着式	1
仕　様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0ｔ HL、下枠：SUS304-3.0ｔ HL			
パネル	アルミアルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約14kg x 1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】 漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

名　　称	A/5　止水板詳細図	S=1: 20

改修後





工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

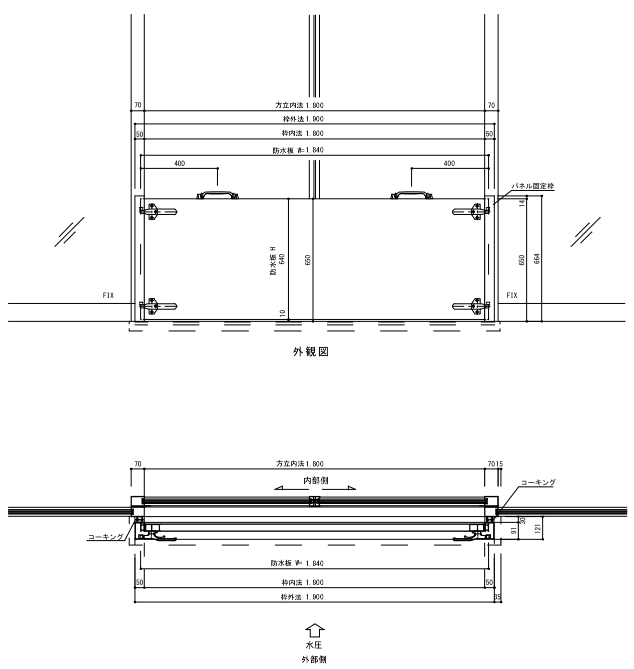
【 品番は参考とし同等品とする】

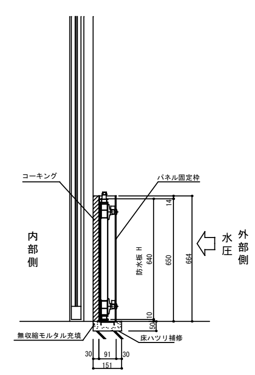
品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
WHM-WPS-40	W=1840、H=650	A5	脱着式	1
仕　様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0ｔ HL、下枠：SUS304-3.0ｔ HL			
パネル	アルミアルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約14kg x 1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】 漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

名　　称	A/6　止水板詳細図	S=1: 20

改修後





工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

【 品番は参考とし同等品とする】

品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
WHM-WPS-40	W=1900、H=650	A6	脱着式	1
仕　様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0ｔ HL、下枠：SUS304-3.0ｔ HL			
パネル	アルミアルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約15kg x 1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】 漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

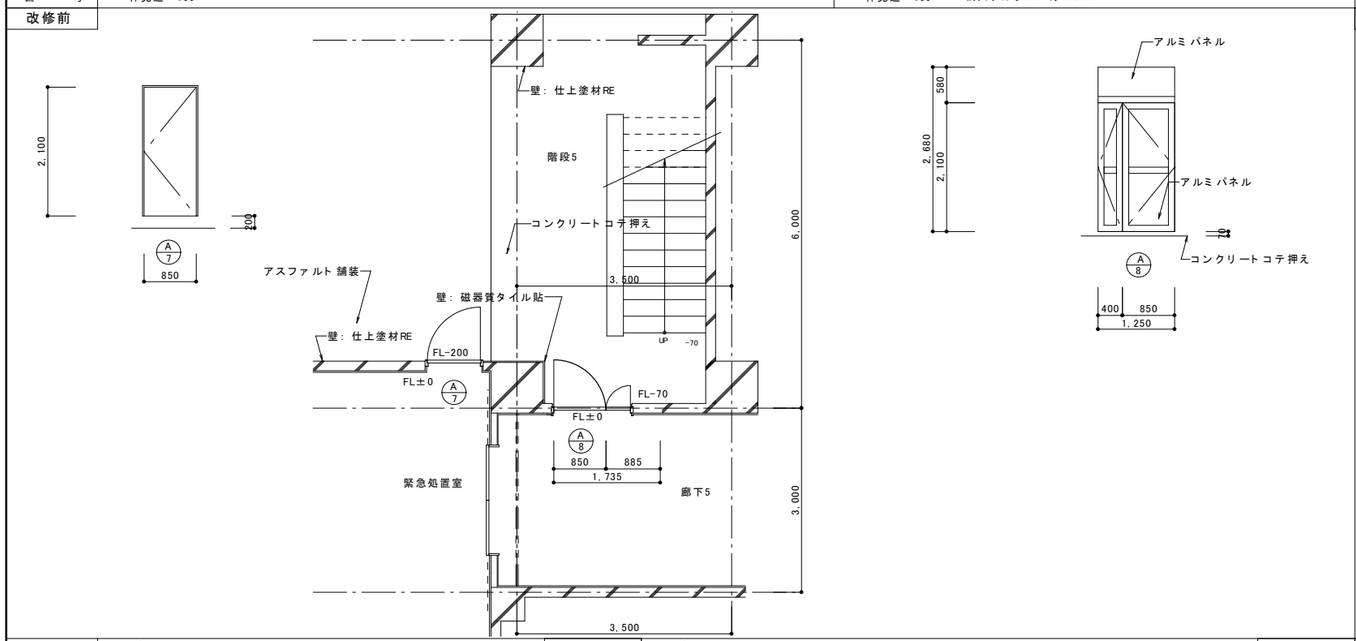
※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

文字・数字　H=5.0

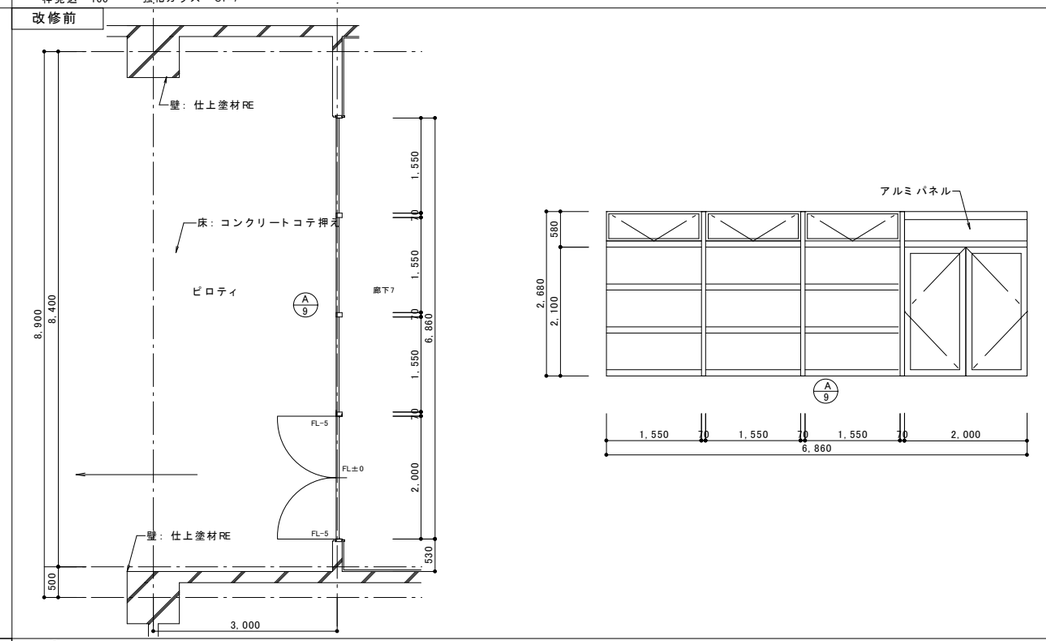
備考	設計担当者	工事名	図面内容	縮尺（原図A1版）	縮尺（縮小A3版）
		岩手県立久慈病院浸水対策ほか工事	A　建具表-2 （止水板詳細図）	S=1: 50 S=1: 20	S=1: 100 S=1: 40
			設計年月　令和 7 年 8 月	区分　建築	No　A-08

名　　称	A/7 片開きスチールフラッシュドア	S＝1：50	A/8 アルミ製FIX袖付き框ドア	S＝1：50	A/9 アルミ製FIX袖外倒しランマ付両開き框ドア	S＝1：50
寸　　法	W=850　H=2100		W=1250　H=2680		W=6860　H=2680	
付 属 物					オペレーター	
付属金物	丁番、レバーハンドル、シリンダー錠		丁番、レバーハンドル、ドアチェック、フランス落し、シリンダー錠		ピボットヒンジ、押棒、ドアチェック、シリンダー錠	
使用場所	1階　救急処置室		1階　廊下5		1階　廊下7	
数　　量	1		1		1	
仕　　上	SOP		シルバー		シルバー	
備　　考	枠見込　100		枠見込　100　網入りガラス　厚6.8mm		枠見込　100　強化ガラス　ST-7	

改修前

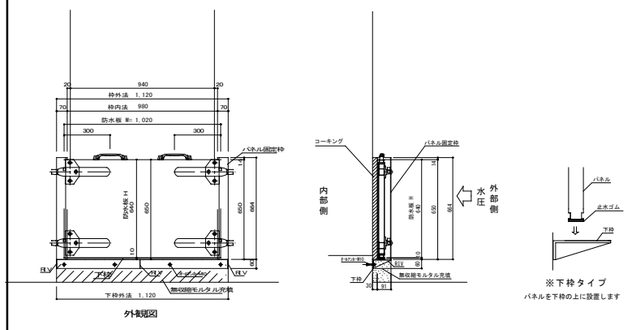


改修前

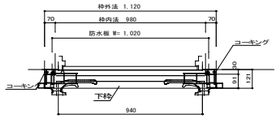


名　　称	A/7 止水板詳細図	S＝1：20	A/8 止水板詳細図	S＝1：20	A/9 止水板詳細図	S＝1：20

改修後



外観図



水圧
外部側

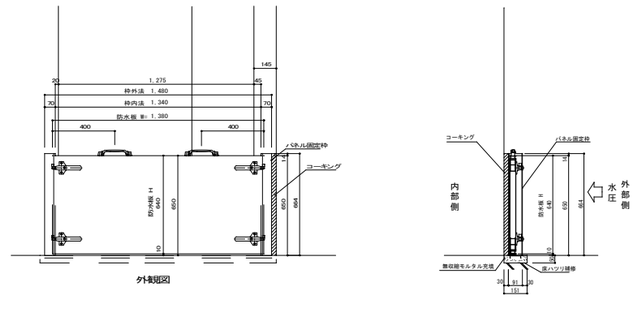
工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

【 品番は参考とし同等品とする】

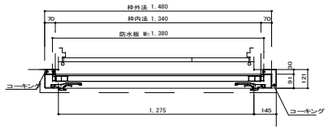
品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
MHM-WPS-40	W=1120、H=650	A 7	脱着式	1
仕　様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0ｔ HL、下枠：SUS304-6.0ｔ HL			
パネル	アルミアルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約8kg×1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】 漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

改修後



外観図



水圧
外部側

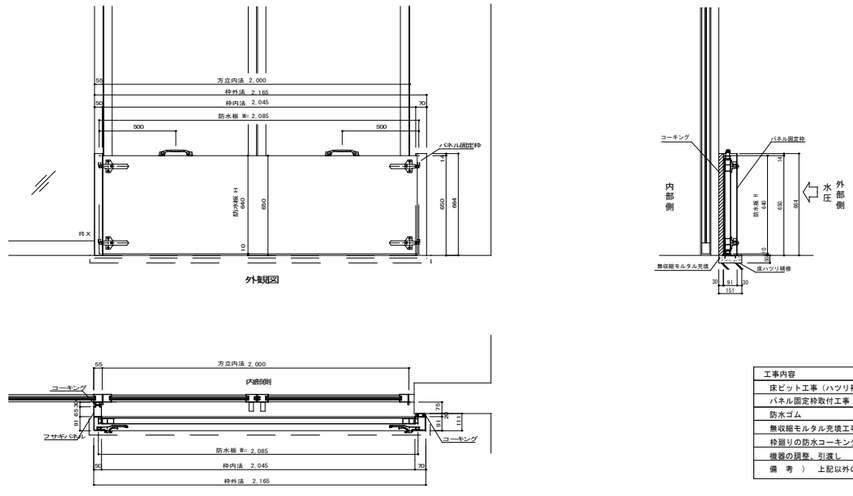
工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

【 品番は参考とし同等品とする】

品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
MHM-WPS-40	W=1480、H=650	A 8	脱着式	1
仕　様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0ｔ HL、下枠：SUS304-3.0ｔ HL			
パネル	アルミアルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約10kg×1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】 漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

改修後



工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

【 品番は参考とし同等品とする】

品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
MHM-WPS-40	W=2165、H=650	A 9	脱着式	1
仕　様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0ｔ HL、下枠：SUS304-3.0ｔ HL			
パネル	アルミアルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約17kg×1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】 漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

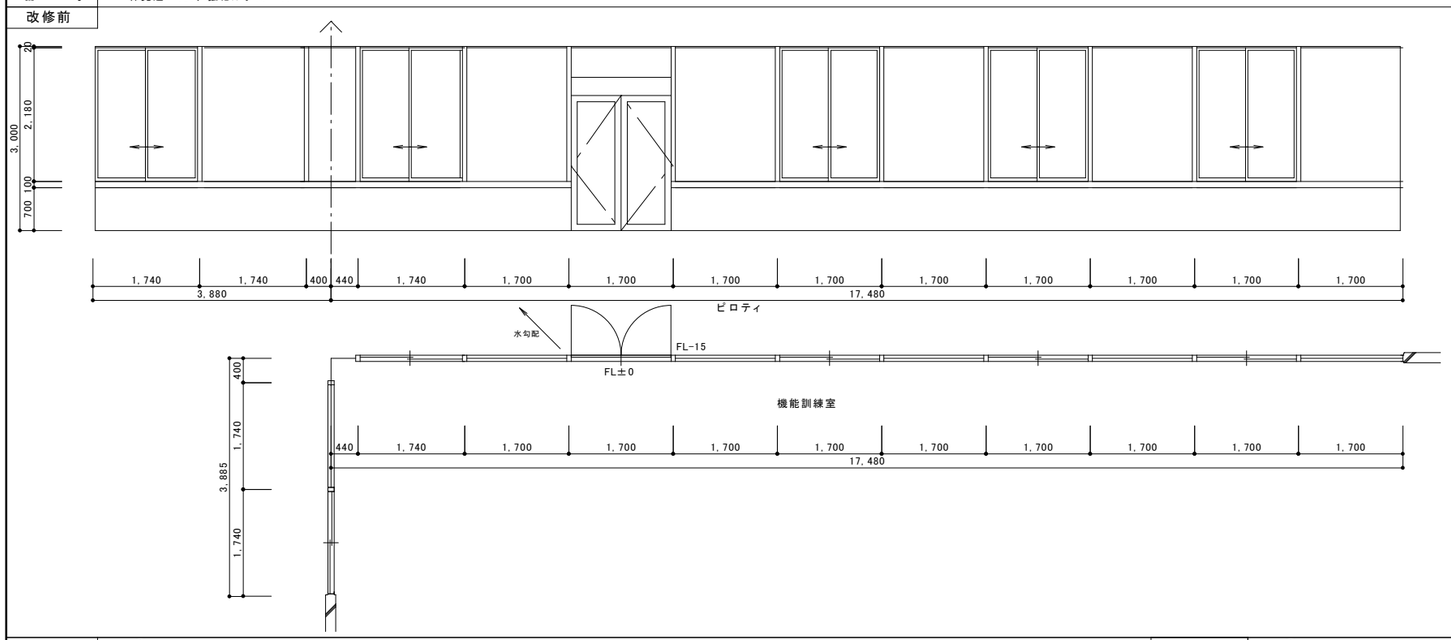
※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

文字・数字　H=5.0

備考	設計担当者	工事名	図面内容	縮尺（原図A1版）	縮尺（縮小A3版）
		岩手県立久慈病院浸水対策ほか工事	A　建具表-3 （止水板詳細図）	S=1:50 S=1:20	S=1:100 S=1:40
			設計年月　令和 7 年 8 月	区分　建築	No　A-09

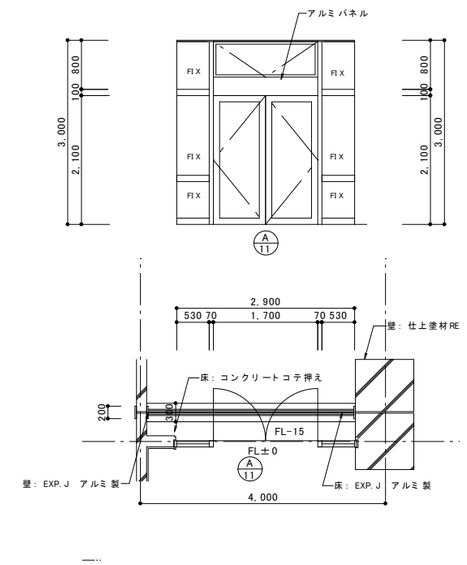
名　　称	A/10 アルミ製框ドア引違い窓付き連窓	S＝1：50
寸　　法	W=21360　H=3000	
付 属 物		
付属金物	丁番、押棒、ドアチェック、フランス落し、クレセント	
使用場所	1階　機能訓練室	
数　　量	1	
仕　　上	シルバー	
備　　考	枠見込　100、強化ガラス　T7	

改修前



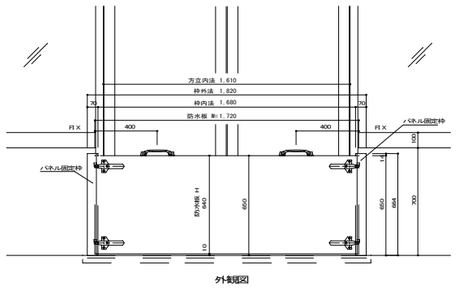
	A/11 アルミ製FIX袖外倒しランマ付両開き框ドア（エアタイト）	S＝1：50
	W=3440　H=3000	
	オペレーター	
	丁番、押棒、ドアチェック、フランス落し	
	1階　待合廊下1	
	1	
	シルバー	
	枠見込　100　強化ガラス　T-7	

改修前

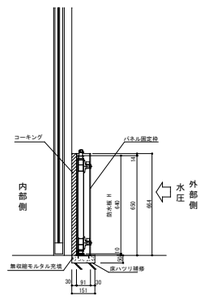


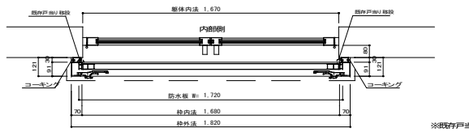
名　　称	A/10 止水板詳細図	S＝1：20

改修後



外観図





※既存戸当り移設2ヶ所

水圧
外部側

工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

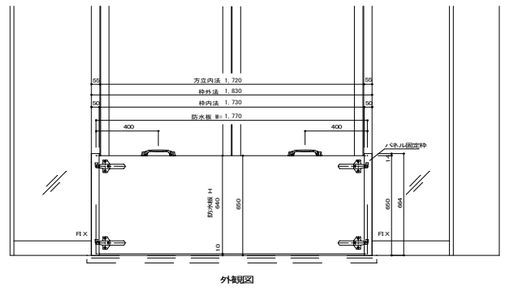
【 品番は参考とし同等品とする】

品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
W側-WPS-40	W=1820、H=650	A１０	脱着式	1
仕　様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0ｔ HL、下枠：SUS304-3.0ｔ HL			
パネル	アルミアルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約15kg×1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】 漏水量0.001以下［m３/（h・m２）］			

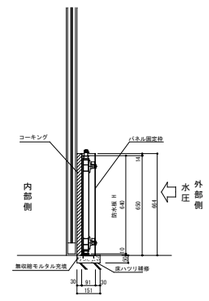
※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

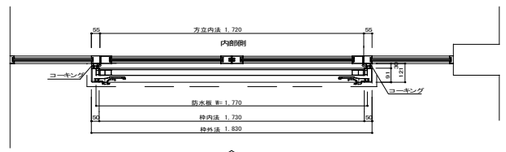
	A/11 止水板詳細図	S＝1：20

改修後



外観図





水圧
外部側

工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

【 品番は参考とし同等品とする】

品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
W側-WPS-40	W=1830、H=650	A１１	脱着式	1
仕　様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0ｔ HL、下枠：SUS304-3.0ｔ HL			
パネル	アルミアルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約14kg×1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】 漏水量0.001以下［m３/（h・m２）］			

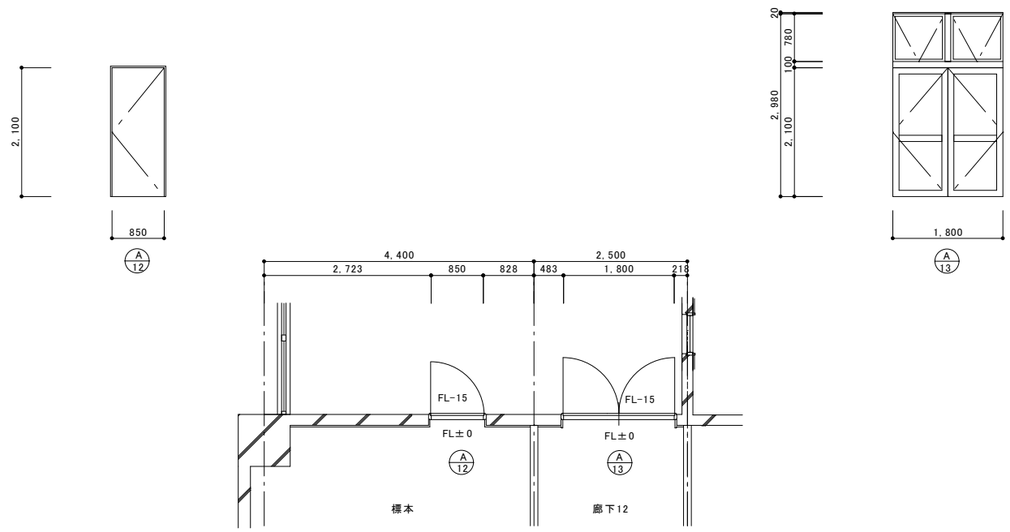
※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

文字・数字　H=5.0

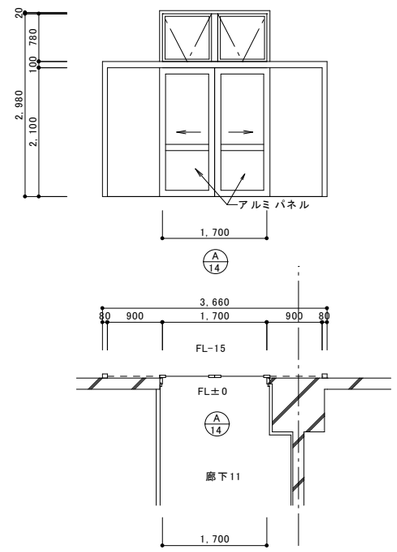
備考	設計担当者	工事名	図面内容	縮尺（原図A1版）	縮尺（縮小A3版）
		岩手県立久慈病院浸水対策ほか工事	A　建具表-4 （止水板詳細図）	S=1:50 S=1:20	S=1:100 S=1:40
			設計年月　令和 7 年 8 月	区分　建築	No　A-10

名　　称	A/12 片開きスチールフラッシュドア　S＝1：50	A/13 アルミ製外倒しランマ付両開き框ドア　S＝1：50	A/14 アルミ製外倒しランマ付引き分け框戸　S＝1：50
寸　　法	W=850　H=2100	W=2180　H=2980	W=1700　H=2980
付 属 物		オペレーター	オペレーター
付属金物	丁番、シリンダー錠、ドアクローザー、戸当たり、レバーハンドル	丁番、レバーハンドル、ドアチェック、シリンダー錠、フランス落し	引手、吊り金具、シリンダー錠
使用場所	1階　標本室	1階　廊下	1階　廊下
数　　量	1	1	1
仕　　上	SOP	シルバー	シルバー
備　　考	枠見込　70	枠見込　100　強化ガラス　T-7	枠見込　100　強化ガラス　T-7

改修前

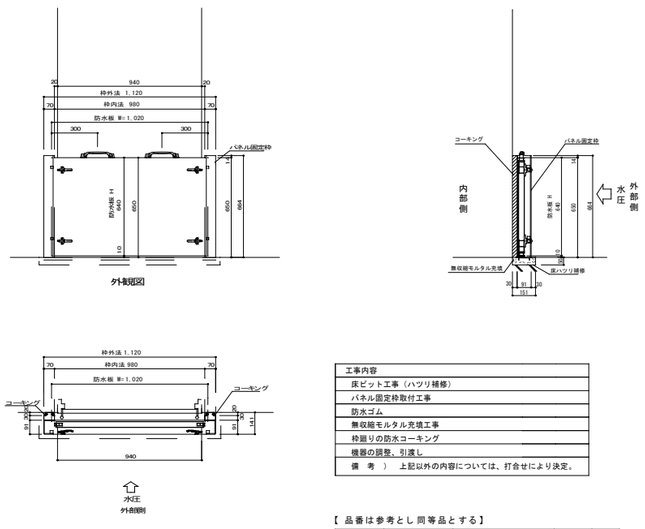


改修前



名　　称	A/12 止水板詳細図　S＝1：20	A/13 止水板詳細図　S＝1：20	A/14 止水板詳細図

改修後



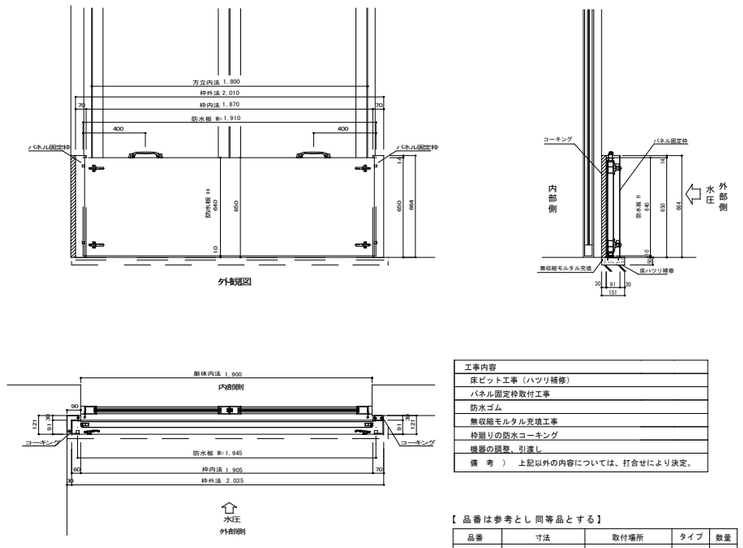
工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

【 品番は参考とし 同等品とする】

品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
NHM-WPS-40	W=1120、H=650	A１２	脱着式	1
仕　様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0ｔ HL、下枠：SUS304-3.0ｔ HL			
パネル	アルミアルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約8kg×1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】 漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

改修後



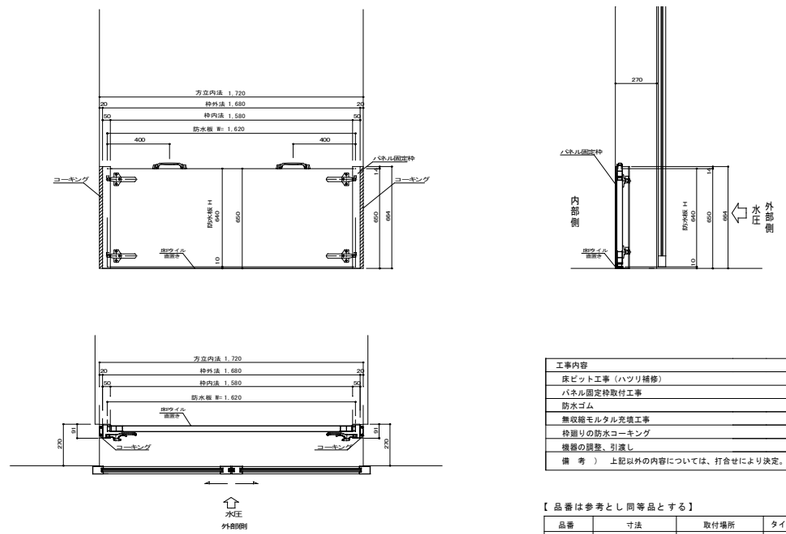
工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

【 品番は参考とし 同等品とする】

品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
NHM-WPS-40	W=2035、H=650	A１３	脱着式	1
仕　様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0ｔ HL、下枠：SUS304-3.0ｔ HL			
パネル	アルミアルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約15kg×1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】 漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

改修後



工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

【 品番は参考とし 同等品とする】

品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
NHM-WPS-40	W=1680、H=650	A１４	脱着式	1
仕　様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0ｔ HL、下枠：SUS304-3.0ｔ HL			
パネル	アルミアルマイト仕上げ　厚さ40			
パネル重量	約14kg×1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】 漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

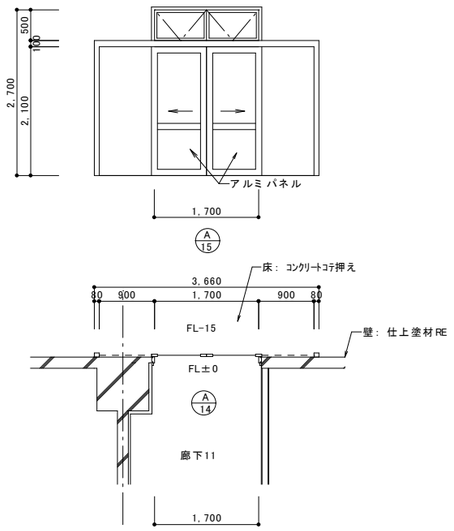
※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

文字・数字　H=5.0

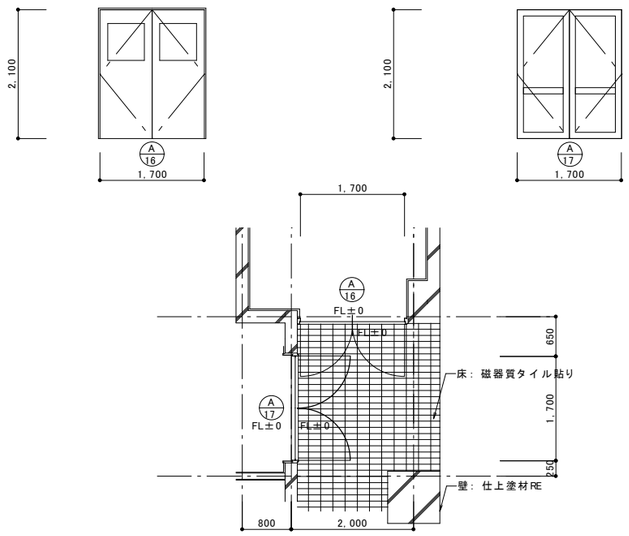
備考	設計担当者	工事名	図面内容	縮尺（原図A1版）	縮尺（縮小A3版）
		岩手県立久慈病院浸水対策ほか工事	A　建具表-5 （止水板詳細図）	S=1:50 S=1:20	S=1:100 S=1:40
			設計年月　令和 7 年 8 月	区分　建築	No　A-11

名　　称	A/15 アルミ製外倒しランマ付引き分け框戸 S＝1：50	A/16 親子開きスチールフラッシュドア S＝1：50	A/17 ｽﾃﾝﾚｽ製両開きドア S＝1：50
寸　　法	W=1700　H=2980	W=1700　H=2100	
付 属 物	オペレーター		
付属金物	引手、吊り金具、シリンダー錠	丁番、レバーハンドル、シリンダー錠、フランス落し	ヒンジ、押棒、シリンダー錠
使用場所	1階　廊下	1階　前室	1階　検収1
数　　量	1	1	1
仕　　上	シルバー	SOP	ステンレス　HL　SUS304　t ＝2.0
備　　考	枠見込　100　　強化ガラス　T-7	枠見込　70　　網入りガラス　厚6.8mm	枠見込　100、強化ガラス　T12

改修前

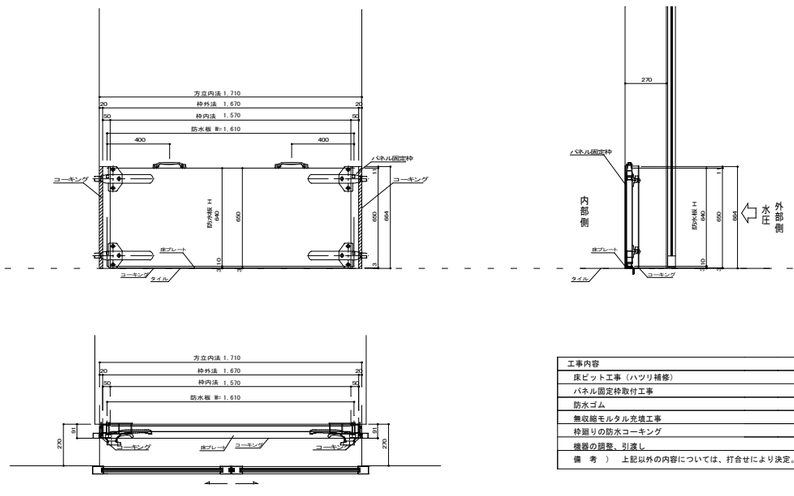


改修前



名　　称	A/15 止水板詳細図 S＝1：20	A/16 止水板詳細図 S＝1：20	A/17 止水板詳細図 S＝1：20

改修後



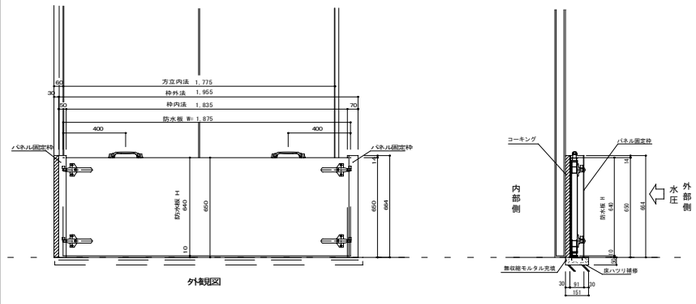
工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

【 品番は参考とし 同等品とする 】

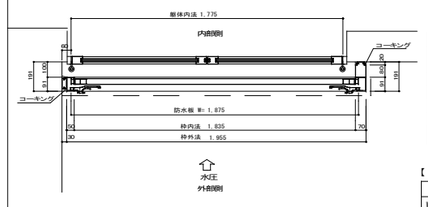
品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
新興-WPS-40	W=1670、H=650	Ａ１５	脱着式	1
仕　様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0ｔ HL、下枠：SUS304-3.0ｔ HL			
パネル	アルミアルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約14kg×1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】 漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

改修後



外観図



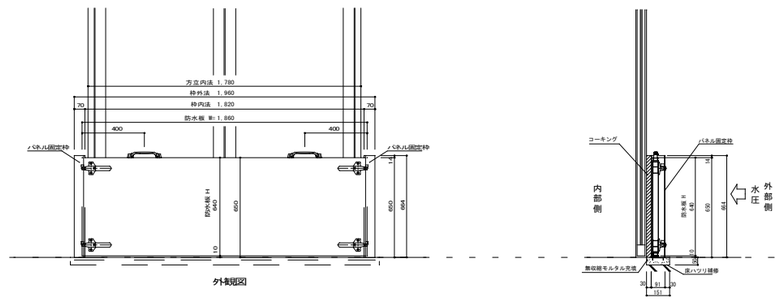
工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

【 品番は参考とし 同等品とする 】

品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
新興-WPS-40	W=1955、H=650	Ａ１６	脱着式	1
仕　様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0ｔ HL、下枠：SUS304-3.0ｔ HL			
パネル	アルミアルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約14kg×1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】 漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

改修後



外観図

工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

【 品番は参考とし 同等品とする 】

品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
新興-WPS-40	W=1960、H=650	Ａ１７	脱着式	1
仕　様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0ｔ HL、下枠：SUS304-3.0ｔ HL			
パネル	アルミアルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約15kg×1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】 漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

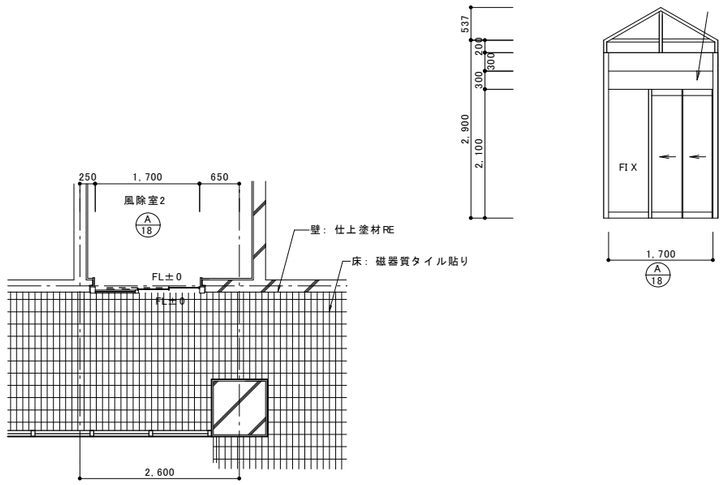
※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

文字・数字　H=5.0

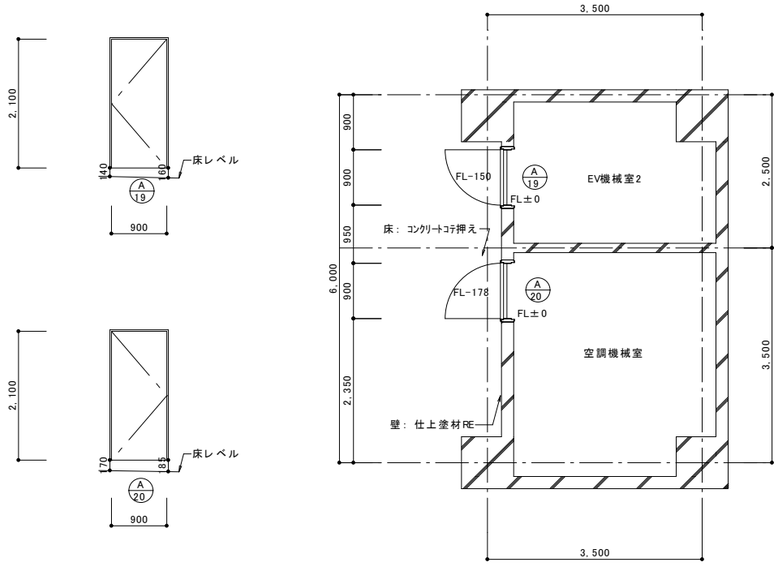
備考	設計担当者	工事名	図面内容	縮尺（原図A1版）	縮尺（縮小A3版）
		岩手県立久慈病院浸水対策ほか工事	A　建具表-6 （止水板詳細図）	S=1:50 S=1:20	S=1:100 S=1:40
			設計年月　令和 7 年 8 月	区分　建築	No　A-12

名　称	A/18 ｽﾃﾝﾚｽ製排煙窓付片引き自動ドア	S＝1：50	A/19 片開きスチールフラッシュドア	S＝1：50	A/20 片開きスチールフラッシュドア	S＝1：50
寸　法	W=2110　H=2980		W=900　H=2100		W=900　H=2100	
付 属 物	オペレーター					
付属金物	ドアエンジン、センサースイッチ		丁番、レバーハンドル、シリンダー錠		丁番、レバーハンドル、シリンダー錠	
使用場所	1階　風除室2		1階　EV機械室2		1階　空調機械室	
数　量	1		1		1	
仕　上	ステンレス　HL　SUS304　t ＝2.0		SOP		SOP	
備　考	枠見込　100　強化ガラス　T-12		枠見込　100		枠見込　100	

改修前

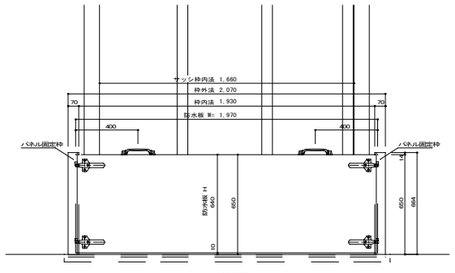


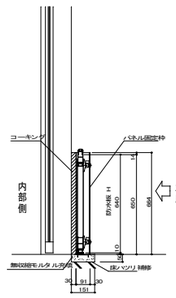
改修前

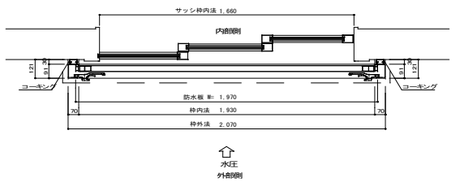


名　称	A/18 止水板詳細図	S＝1：20	A/19 止水板詳細図	S＝1：20	A/20 止水板詳細図	S＝1：20

改修後







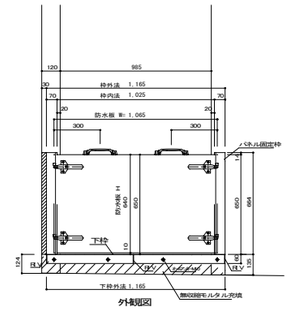
工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

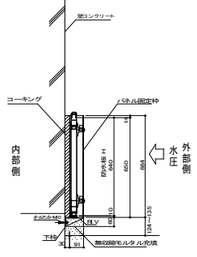
【 品番は参考とし同等品とする】

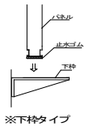
品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
WHM-WPS-40	W=2070、H=650	Ａ１８	脱着式	1
仕　様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0ｔ HL、下枠：SUS304-3.0ｔ HL			
パネル	アルミアルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約16kg×1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】 漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

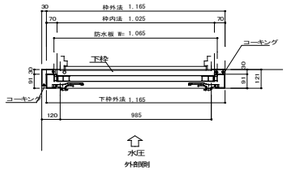
改修後







※下枠タイプ
パネルを下枠の上に設置します



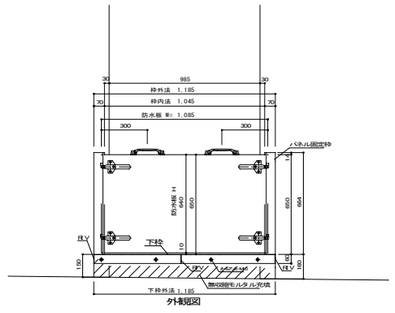
工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

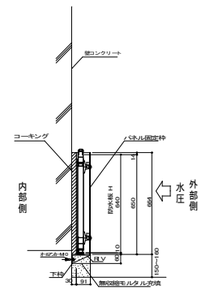
【 品番は参考とし同等品とする】

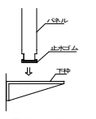
品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
WHM-WPS-40	W=1165、H=650	Ａ１９	脱着式	1
仕　様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0ｔ HL、下枠：SUS304-3.0ｔ HL			
パネル	アルミアルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約8kg×1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】 漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

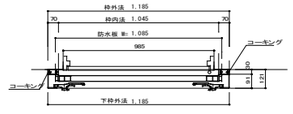
改修後







※下枠タイプ
パネルを下枠の上に設置します



工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

【 品番は参考とし同等品とする】

品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
WHM-WPS-40	W=1185、H=650	Ａ２０	脱着式	1
仕　様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0ｔ HL、下枠：SUS304-3.0ｔ HL			
パネル	アルミアルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約8kg×1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】 漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

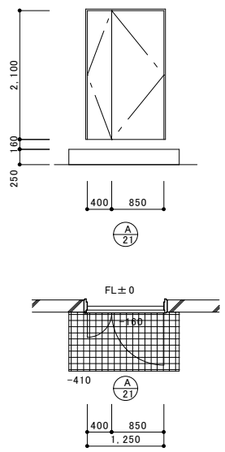
※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

文字・数字　H=5.0

備考	設計担当者	工事名	図面内容	縮尺（原図A1版）	縮尺（縮小A3版）
		岩手県立久慈病院浸水対策ほか工事	A　建具表-7 （止水板詳細図）	S=1:50 S=1:20	S=1:100 S=1:40
			設計年月　令和 7 年 8 月	区分　建築	No　A-13

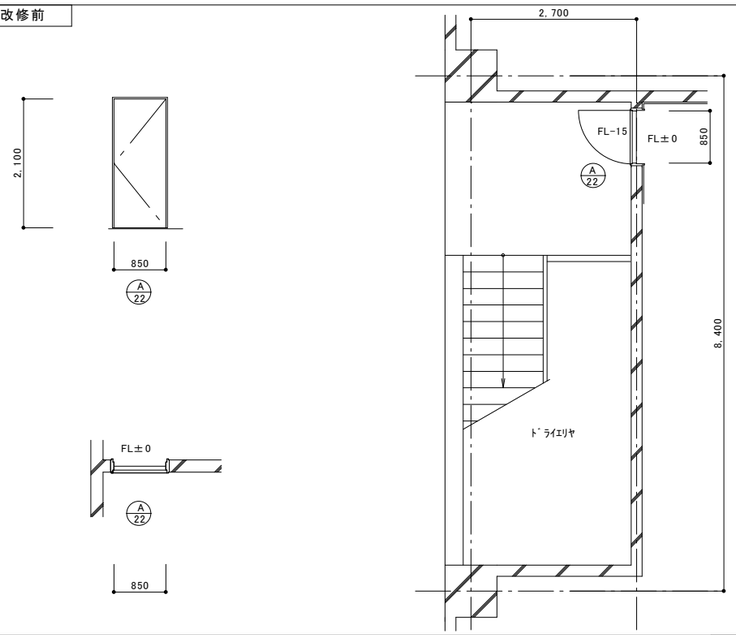
名　　称	A/21 親子開きスチールフラッシュドア	S＝1：50
寸　　法	W=1250　H=2100	
付 属 物		
付属金物	丁番、レバーハンドル、フランス落し、シリンダー錠、 ドアクローザー、ストッパー	
使用場所	増築棟	
数　　量	1	
仕　　上	SOP	
備　　考	枠見込　100	

改修前



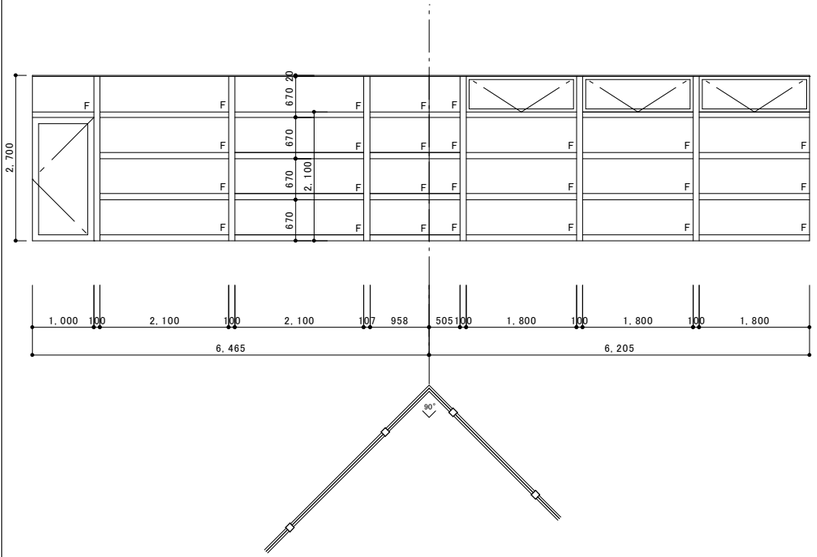
名　　称	A/22 片開きスチールフラッシュドア	S＝1：50
寸　　法	W=850　H=2100	
付 属 物		
付属金物	丁番、シリンダー錠、ドアクローザー、戸当たり、レバーハンドル	
使用場所	1階　廃棄物室	
数　　量	1	
仕　　上	SOP	
備　　考	枠見込　100	

改修前



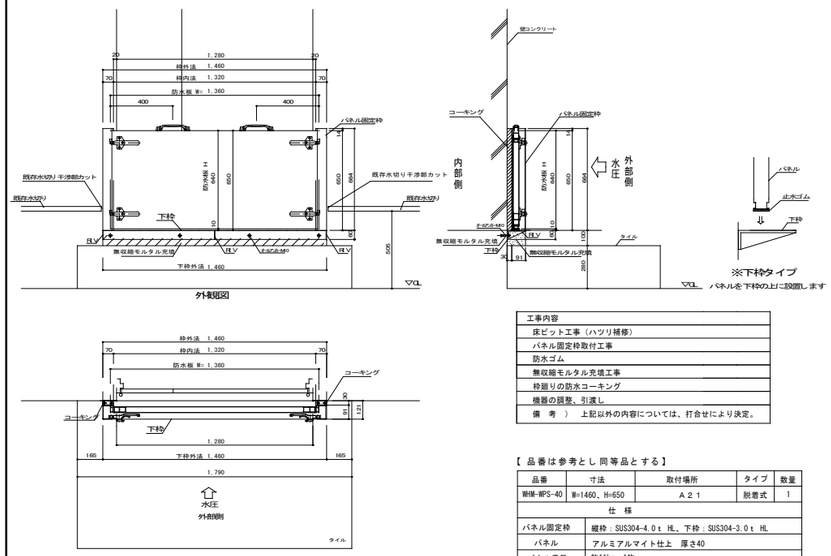
名　　称	AW/21 外倒しランマ付片開き枢ドア付段窓	S＝1：50
寸　　法	W=12670　H=2700	
付 属 物		
付属金物	丁番、シリンダー錠、ドアクローザー、戸当たり、レバーハンドル　　透明磨き板ガラス5mm+空気層6mm+透明磨き板ガラス6mm	
使用場所	5階　食堂	
数　　量	1	
仕　　上	アルミサッシ	
備　　考		

改修前



名　　称	A/21 止水板詳細図	S＝1：20

改修後



工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

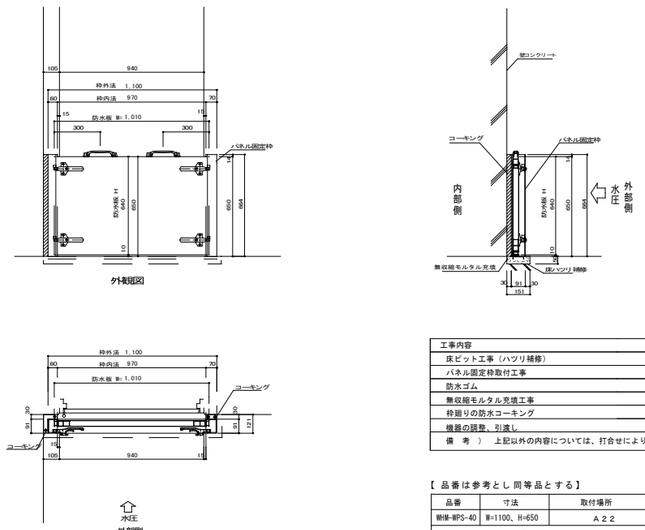
【 品番は参考とし同等品とする】

品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
WHM-WPS-40	W=1460、H=650	A２１	脱着式	1
仕　様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0ｔ HL、下枠：SUS304-3.0ｔ HL			
パネル	アルミミルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約11kg×1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】 漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

A/22 止水板詳細図	S＝1：20

改修後



工事内容
床ピット工事（ハツリ補修）
パネル固定枠取付工事
防水ゴム
無収縮モルタル充填工事
枠廻りの防水コーキング
機器の調整、引渡し
備　考　）　上記以外の内容については、打合せにより決定。

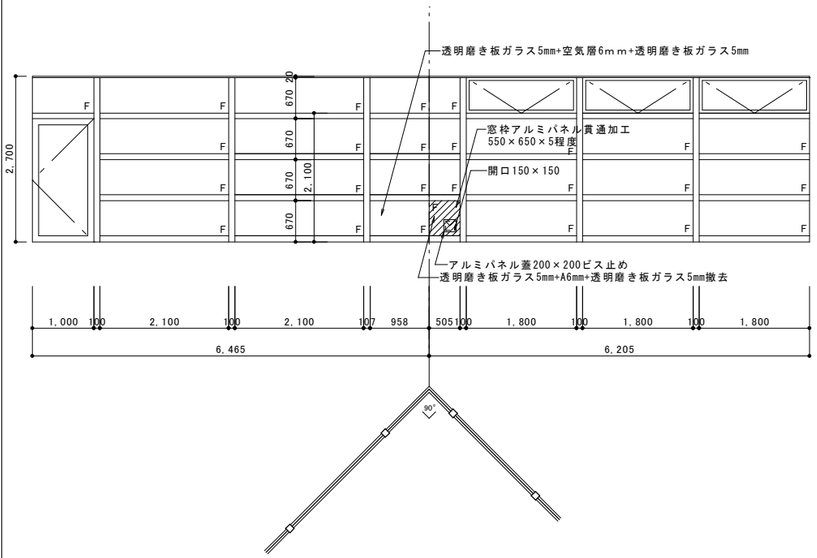
【 品番は参考とし同等品とする】

品番	寸法	取付場所	タイプ	数量
WHM-WPS-40	W=1100、H=650	A２２	脱着式	1
仕　様				
パネル固定枠	縦枠：SUS304-4.0ｔ HL、下枠：SUS304-3.0ｔ HL			
パネル	アルミミルマイト仕上　厚さ40			
パネル重量	約9kg×1枚			
止水性能	WS-6等級（JIS A 4716）【建材試験センター5等級】 漏水量0.001以下［m3/（h・m2）］			

※建材試験センターの性能証明が提出できるメーカーに限る。

AW/21 窓枠アルミパネル貫通加工（ 550×650×5）	S＝1：50

改修後



文字・数字　H=5.0

備考	設計担当者	工事名	図面内容	縮尺（原図A1版）	縮尺（縮小A3版）
		岩手県立久慈病院浸水対策ほか工事	A　建具表-8 （止水板詳細図）	S=1:50 S=1:20	S=1:100 S=1:40
			設計年月　令和 7 年 8 月	区分　建築	No　A-14